東京医科歯科大学教養部

教　育　要　項

－教養教育－

医学部医学科２・３年

歯学部歯学科２・３年

2016

平成28年度医歯学融合教育（教養教育）

●　医学科・歯学科（2年生）

月日	曜日	回数	1時限（9:00～9:50）	2時限（10:05～10:55）	3時限（11:10～12:00）
4月7日	木	1	生命科学基礎（生物学） （医学科・歯学科2年生対象） （医学科講義室1 および大学院講義室4）	主題別選択Ⅰ（前半） （医学科・歯学科2年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）	
4月14日	木	2			
4月21日	木	3			
4月28日	木	4			
5月12日	木	5			
5月19日	木	6			
5月26日	木	7			
6月2日	木	8			
6月9日	木	9		主題別選択Ⅰ（後半） （医学科・歯学科2年生対象） （教養部教員） （※）6月30日のみ医学科講義室1は、歯学部特別講堂に変更）	
6月16日	木	10			
6月23日	木	1	生命科学基礎（化学） （医学科・歯学科2年生対象）		
6月30日	木	2			
7月7日	木	3			
7月14日	木	4	（医学科講義室1 および大学院講義室4） （※）6月30日のみ医学科講義室1は、歯学部特別講堂に変更）	（講義室：次ページ参照）	
7月21日	木	5			
9月8日	木				主題別選択Ⅰ（予備日）
9月15日	木		試験	試験	生命科学基礎（化学・予備日）
9月29日	木	6	生命科学基礎（化学） （医学科・歯学科2年生対象） （医学科講義室1 および大学院講義室4）		
10月6日	木	7			
10月13日	木	8			
10月20日	木				
10月27日	木	9	生命科学基礎（化学） （医学科・歯学科2年生対象） （医学科講義室1 および大学院講義室4）		
11月10日	木	10			
11月17日	木	1	生命科学基礎（物理学） （医学科・歯学科2年生対象） （医学科講義室1 および大学院講義室4）		
11月24日	木	2			
12月1日	木	3			
12月8日	木	4			
12月15日	木	5			
12月22日	木				
1月5日	木	6	生命科学基礎（物理学） （医学科・歯学科2年生対象） （医学科講義室1 および大学院講義室4）		
1月12日	木	7			
1月19日	木	8			
1月26日	木	9			
2月2日	木	10			
2月23日	木		試験	試験	
3月2日	木		試験	試験	試験

●医学科・歯学科（3年生）

月日	曜日	回数	1時限（9:00～9:50）	2時限（10:05～10:55）	3時限（11:10～12:00）
4月7日	木	1		主題別選択Ⅱ（前半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）	主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （前期：前半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）
4月14日	木	2			
4月21日	木	3			
4月28日	木	4			
5月12日	木	5			
5月19日	木	6			
5月26日	木	7			
6月2日	木	8			
6月9日	木	9		主題別選択Ⅱ（後半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （※）6月30日のみ医学科講義室1は、歯学部特別講堂に変更）	主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （前期：後半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）
6月16日	木	10			
6月23日	木	11			
6月30日	木	12			
7月7日	木	13			
7月14日	木	14		（講義室：次ページ参照）	
7月21日	木	15			
9月8日	木		主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ（予備日）		主題別選択Ⅱ（予備日）
9月29日	木				
10月6日	木	1			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （後期：前半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員）（講義室：次ページ参照）
10月13日	木	2			
10月20日	木				
10月27日	木	3			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （後期：前半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）
11月10日	木	4			
11月17日	木	5			
11月24日	木	6			
12月1日	木	7			
12月8日	木	1			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （後期：後半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）
12月15日	木	2			
12月22日	木	3			
1月5日	木	4			
1月12日	木	5			
1月19日	木	6			
1月26日	木	7			
2月2日	木	8			

講義室一覧

（生命科学基礎）

	講義室	場所
1	医学科講義室1 （※）6月30日（木）のみ 歯学部特別講堂に変更	3号館2階 （※）6月30日（木）のみ 歯科棟南4階
2	大学院講義室4	M&Dタワー9階

（主題別選択Ⅰ・Ⅱ）

	講義室	場所
1	医学科講義室1 （※）6月30日（木）のみ 歯学部特別講堂に変更	3号館2階 （※）6月30日（木）のみ 歯科棟南4階
2	医学科講義室2	3号館3階
3	共用セミナー1	M&Dタワー24階
4	共用セミナー2	M&Dタワー23階
5	共用セミナー4	M&Dタワー22階
6	共用セミナー5	M&Dタワー15階
7	共用セミナー6	M&Dタワー15階
8	共用セミナー7	M&Dタワー14階
9	共用セミナー9	M&Dタワー8階（5月19日（木）より3号館5階演習室1・2に変更）（注意：医学科演習室5－1，2ではありません。）
10	共用セミナー10	M&Dタワー8階
11	共用セミナー11	M&Dタワー6階
12	共用セミナー12	M&Dタワー6階
13	大学院講義室3	M&Dタワー11階
14	大学院講義室4	M&Dタワー9階
15	演習室4-11.12	3号館3階
16	演習室5-1.2	3号館5階
17	演習室5-3,4	3号館5階

（主題別人文社会科学セミナー・講義）

	講義室	場所
1	医学科講義室2	3号館3階
2	大学院講義室3	M&Dタワー11階
3	大学院講義室4	M&Dタワー9階
4	症例検討室	医科新棟5階
5	第4ゼミナール室	7号館6階
6	共用セミナー7	M&Dタワー14階
7	共用セミナー9	M&Dタワー8階（5月19日（木）より3号館5階演習室1・2に変更）（注意：医学科演習室5－1，2ではありません。）
8	共用セミナー10	M&Dタワー8階
9	共用セミナー11	M&Dタワー6階
10	共用セミナー12	M&Dタワー6階

教養教育

世界に通用する医療人になるためには、専門教育で獲得する知と技に加えて、様々な文化や多様な世界を理解できる教養と、他者を理解するための人間としての力が求められています。教養部では、そのためには、教養教育と、専門教育を学ぶための基礎教育を並行して行うことが必要だと考えています。

1年次には国府台キャンパスで、自然科学や人文社会科学の基本的な考え方を学ぶとともに基礎学力の充実を図りました。2年次と3年次には湯島キャンパスで、専門教育と密接にかかわる自然科学の分野を「生命科学基礎」として学びます。さらに、自然科学、人文社会科学、語学について複合的に学ぶことをとおして、自己問題提起・解決型の想像力を付けることを目的とした、「主題別選択Ⅰ・Ⅱ」と「主題別人文社会科学セミナー」の授業が行われます。

科目概要

1）生命科学基礎（生物学・化学・物理学）

1年次の学習だけでは不十分であった生物学、化学、物理学の内容を補うとともに、生命科学に関係するトピックも取り上げ、医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学ぶことで、基礎学力のさらなる充実を図り、専門教育への円滑につないでいくことを目的としています。

2）主題別選択Ⅰ・Ⅱ

「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点の中から各自が1つの視点を選択し、その視点から「人間」を考えてみる授業です。3年次に行われる「主題別人文社会科学セミナー」へ向け、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけることを目的としています。

3）主題別人文社会科学セミナー

各主題に別れて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導きます。自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分の考えを持つことが期待されています。

生命科学基礎

時間割番号	000505		
科目名	生命科学基礎（生物Ａ）		
担当教員	伊藤　正則		
開講時期	通年	対象年次	2

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学
　力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

１年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスを取り上げることにより、専門教育の基礎となる部分を学習する。また、医歯学の専門と関わる教育の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。

授業の到達目標(SBOs)

１）医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。
２）生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	09:00-09:50	医学科講義室１	伊藤　正則
2	4/14	09:00-09:50	医学科講義室１	伊藤　正則
3	4/21	09:00-09:50	医学科講義室１	伊藤　正則
4	4/28	09:00-09:50	医学科講義室１	伊藤　正則
5	5/12	09:00-09:50	医学科講義室１	伊藤　正則
6	5/19	09:00-09:50	医学科講義室１	伊藤　正則
7	5/26	09:00-09:50	医学科講義室１	伊藤　正則
8	6/2	09:00-09:50	医学科講義室１	伊藤　正則
9	6/9	09:00-09:50	医学科講義室１	伊藤　正則
10	6/16	09:00-09:50	医学科講義室１	伊藤　正則

授業方法

講義形式による。

授業内容

生命科学のトピックスを取り上げ、基本的な知識とその知識の発展性・応用性を説明する。

成績評価の方法

評価：試験による。生物学、化学、物理学の総合的評価による。前期では生物学と化学の前半部分の試験、後期でははは化学の後半部分と物理学の試験を行う。試験のいずれか１つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

知識が体系的になるようにノートを整理する等の複習を行うこと。
試験の受験資格 2/3以上出席したものに試験の受験資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 時間生物学の基礎　／富岡　憲治：裳華房，2008
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2：00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000506		
科目名	生命科学基礎（生物Ｂ）		
担当教員	服部　淳彦		
開講時期	通年	対象年次	2

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学
　　力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

１年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスである『時間生物学・時間医療科学』を取り上げることにより、専門教育の基盤を学習する。また、医歯学の専門の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。

授業の到達目標(SBOs)

１）医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明する
　ことができる。
２）生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を
　深めることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	09:00-09:50	大学院講義室４	服部　淳彦
2	4/14	09:00-09:50	大学院講義室４	服部　淳彦
3	4/21	09:00-09:50	大学院講義室４	服部　淳彦
4	4/28	09:00-09:50	大学院講義室４	服部　淳彦
5	5/12	09:00-09:50	大学院講義室４	服部　淳彦
6	5/19	09:00-09:50	大学院講義室４	服部　淳彦
7	5/26	09:00-09:50	大学院講義室４	服部　淳彦
8	6/2	09:00-09:50	大学院講義室４	服部　淳彦
9	6/9	09:00-09:50	大学院講義室４	服部　淳彦
10	6/16	09:00-09:50	大学院講義室４	服部　淳彦

授業方法

講義形式による。

授業内容

生命科学の中でも『時間生物学・時間医療科学』のトピックスを中心に、生命現象の背後にある『時間』という概念の基本的な知識とその発展・応用例を取り上げる。

成績評価の方法

評価：　試験　１００％
生物学、化学、物理学の各試験の成績評価による。前期は、生物学と化学の前半部分の試験、後期は、化学の後半部分と物理学の試験

を行う。試験のいずれか1つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 講義の内容と関連のある書物を読むこと。
参考書 時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著,：裳華房, 2003
連絡先 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 服部 淳彦:毎週 水曜：12：30～14：00 金曜：10：30～12：30 ヒポ 4F 教員研究室（A2）

時間割番号	000501		
科目名	生命科学基礎（化学 A）		
担当教員	奈良　雅之, 大塚　淳		
開講時期	通年	対象年次	2

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

１年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/23	09:00-09:50	医学科講義室１	大塚　淳
2	6/30	09:00-09:50	特別講堂	大塚　淳
3	7/7	09:00-09:50	医学科講義室１	大塚　淳
4	7/14	09:00-09:50	医学科講義室１	大塚　淳
5	7/21	09:00-09:50	医学科講義室１	大塚　淳
6	9/29	09:00-09:50	医学科講義室１	奈良　雅之
7	10/6	09:00-09:50	医学科講義室１	奈良　雅之
8	10/13	09:00-09:50	医学科講義室１	奈良　雅之
9	10/27	09:00-09:50	医学科講義室１	奈良　雅之
10	11/10	09:00-09:50	医学科講義室１	奈良　雅之

授業方法

講義形式による

授業内容

生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。

成績評価の方法

評価：試験 100% ・レポート0%
　　その他（授業中の回答状況等も考慮される。）
再評価：有　再試験

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：授業で行う項目について教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。
復習：授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。

試験の受験資格

定期試験(考査)・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 生体分子化学／秋久俊博, 長田洋子 編,秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著,:共立出版, 2008 数学いらずの化学反応論 : 反応速度の基本概念を理解するために／齋藤勝裕 著,:化学同人, 2009
参考書 マクマリー有機化学(下)／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表,:東京化学同人, 2013 アトキンス生命科学のための物理化学／Peter Atkins, Julio de Paula 著,稲葉章, 中川敦史 訳:東京化学同人, 2008
履修上の注意事項 生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。 前期の定期試験では、生物学と化学(の前半)、後期の定期試験では化学(の後半)と物理学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。
連絡先 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 大塚 淳:ohtsuka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 大塚 淳:毎週金曜日 PM.12:00-PM.1:00 ヒポクラテスホール4階

時間割番号	000502		
科目名	生命科学基礎（化学Ｂ）		
担当教員	奈良　雅之, 澤野　頼子		
開講時期	通年	対象年次	2

・曜日・時間：木曜1時限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

１年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/23	09:00-09:50	大学院講義室４	奈良　雅之
2	6/30	09:00-09:50	大学院講義室４	奈良　雅之
3	7/7	09:00-09:50	大学院講義室４	奈良　雅之
4	7/14	09:00-09:50	大学院講義室４	奈良　雅之
5	7/21	09:00-09:50	大学院講義室４	奈良　雅之
6	9/29	09:00-09:50	大学院講義室４	澤野　頼子
7	10/6	09:00-09:50	大学院講義室４	澤野　頼子
8	10/13	09:00-09:50	大学院講義室４	澤野　頼子
9	10/27	09:00-09:50	大学院講義室４	澤野　頼子
10	11/10	09:00-09:50	大学院講義室４	澤野　頼子

授業方法

講義形式による

授業内容

生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。

成績評価の方法

評価：試験 100% ・レポート0%
　　その他（授業中の回答状況等も考慮される。）
再評価：有　再試験

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予習：授業で行う項目について教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。
復習：授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。

試験の受験資格
定期試験・再試験の受験資格：原則3分の２以上出席
教科書
数学いらずの化学反応論 ： 反応速度の基本概念を理解するために／齋藤勝裕 著,：化学同人, 2009 生体分子化学／秋久俊博, 長田洋子 編,秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著,：共立出版, 2008
参考書
アトキンス生命科学のための物理化学／Peter Atkins, Julio de Paula 著,稲葉章, 中川敦史 訳：東京化学同人, 2008 マクマリー有機化学(下)／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表,：東京化学同人, 2013
履修上の注意事項
生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。 前期の定期試験では、生物学と化学（の前半）、後期の定期試験では化学（の後半）と物理学について行う。試験のいずれか１つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。
連絡先
奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000503		
科目名	生命科学基礎（物理 A）		
担当教員	越野　和樹		
開講時期	通年	対象年次	2

・曜日・時間：木曜1限
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表2－1）
　別表4－2）

授業の目的、概要等

1年次の学習だけでは不十分な物理学の分野を補うとともに、振動・波動に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。

授業の到達目標(SBOs)

医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。生命科学の土台となる物理学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができることを到達目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	11/17	09:00-09:50	大学院講義室４	越野　和樹
2	11/24	09:00-09:50	大学院講義室４	越野　和樹
3	12/1	09:00-09:50	大学院講義室４	越野　和樹
4	12/8	09:00-09:50	大学院講義室４	越野　和樹
5	12/15	09:00-09:50	大学院講義室４	越野　和樹
6	1/5	09:00-09:50	大学院講義室４	越野　和樹
7	1/12	09:00-09:50	大学院講義室４	越野　和樹
8	1/19	09:00-09:50	大学院講義室４	越野　和樹
9	1/26	09:00-09:50	大学院講義室４	越野　和樹
10	2/2	09:00-09:50	大学院講義室４	越野　和樹

授業方法

講義による

授業内容

単振動／連成振動／減衰振動／強制振動／波動方程式／波の反射と透過／定在波／電磁波

成績評価の方法

試験による。
生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。前期の定期試験では、生物学と化学（の前半）、後期の定期試験では化学（の後半）と物理学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする.

参考書

振動・波動／小形正男 著,:裳華房, 1999
連絡先 越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 越野　和樹:毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000504		
科目名	生命科学基礎（物理Ｂ）		
担当教員	檜枝　光憲		
開講時期	通年	対象年次	2

・曜日・時間：木曜1限
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
別表2－1）
別表4－2）

授業の目的、概要等

目的 ：1年次の学習だけでは不十分な物理学の分野を補うとともに、振動・波動に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養う。
医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくこと。

授業の到達目標(SBOs)

生命科学の土台となる物理学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	11/17	09:00-09:50	医学科講義室1	檜枝　光憲
2	11/24	09:00-09:50	医学科講義室1	檜枝　光憲
3	12/1	09:00-09:50	医学科講義室1	檜枝　光憲
4	12/8	09:00-09:50	医学科講義室1	檜枝　光憲
5	12/15	09:00-09:50	医学科講義室1	檜枝　光憲
6	1/5	09:00-09:50	医学科講義室1	檜枝　光憲
7	1/12	09:00-09:50	医学科講義室1	檜枝　光憲
8	1/19	09:00-09:50	医学科講義室1	檜枝　光憲
9	1/26	09:00-09:50	医学科講義室1	檜枝　光憲
10	2/2	09:00-09:50	医学科講義室1	檜枝　光憲

授業方法

講義

授業内容

波とは
調和振動子
連制振動とモード
1次元弾性波
定在波
反射と屈折
電磁波の性質
回折と干渉

成績評価の方法

試験による。

生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。前期の定期試験では、生物学と化学（の前半）、後期の定期試験では化学（の後半）と物理学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業前にテキストに目を通し、大雑把な講義の内容を把握すること。
試験の受験資格 2/3以上出席したものに試験の受験資格を与える。
参考書 振動と波／長岡洋介 著,:裳華房, 1992
連絡先 檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 檜枝　光憲:毎週月曜　11:00～13:00　ヒポクラテス 4 階

主題別教育（医学科・歯学科）について

【目的】

人間とは何か。これまで、偉大な先人達が、「人間」の解明にあらゆる観点からいどみ、説明を試みてきました。それらは、「知」として蓄積され、私たちをさらなる思索へと導いてくれます。

あらゆる学問は、この人間について思索をめぐらせ、理論化しようとするところから始まったといってもよいでしょう。人間とは甚だ不可思議な、得体の知れない存在です。私たちは、このよく分からない人間として、よく分からない人間が構築する世界で、よく分からない人間と一緒に生きていかねばなりません。人間をめぐる思索は、自分自身の姿、あるいは自分たちが生きる世界の構造を明らかにしようとする営みにほかならず、人間として生きていく上での必然的行為であり、人間の宿命であるともいえます。

主題別教育は、この「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という５つの視点から考えてみようという取り組みです。

ゴールは、3 年次に行う「主題別人文社会科学セミナー」です。このセミナーでは、各主題に分かれて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導出します。1 年次および 2 年次には、その準備として、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけます。

セミナー修了時には、みなさんは、自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分なりの考えを持つことになるでしょう。もちろん、それは「絶対的な正解」ではありません。しかし、各自が、3 年間かけてたどりついた一つの「結論」です。

そして、この「結論」は、さらなる「新たな問い」を生みだし、「思索」を促し、「新たな結論」へとみなさんを導くでしょう。この、「問い」から「結論」へ、そして「新たな問い」へという、とどまるところを知らない学問のダイナミズムを体験すること、そして、自ら思索する力強さを身につけること、これが主題別教育の目的です。

ここでの取り組みは、将来、「人間」そのものを対象とすることになる医学・歯学系の皆さんを支える、大きな力となるはずです。

【５つの主題】

文化と人間	生命と人間	言語と人間	制度と人間	時間と人間

各主題の目的は次の通りです。

文化と人間	文化とは、人間が創造し習得する精神的な価値の総体である。また、文化とは象徴的記号の体系である。そのような文化を理解することによって、人間の本質を捉えようとすることが目的である。
生命と人間	人間を含むあらゆる生物には生命が宿っている。医療はその生命と常に向き合わなければならない。その生命の多様な現象と、それに対する人間の様々な認識のありようを理解することが目的である。
言語と人間	人間と動物とを区別する最大の要素は言語の使用にある。人間は言語によって、自らの世界を構築してきた。その言語に関する様々な事象を理解することによって、人間の本質を捉えようとすることが目的である。
制度と人間	社会的生物である人間は、様々な制度に取り巻かれて生きている。その制度を相対的に理解することと、制度の構造を分析することによって、人間のありようを理解することが目的である。
時間と人間	人間は時間的存在であり、時間的拘束のもとに生きている。時間を相対的に理解し、その構造を明らかにすることによって、人間存在の本質を理解することが目的である。

上の５つの主題の中から、１つ選択します。各主題とも、定員は約３０名です。

３年次の「主題別人文社会科学セミナー」は、この主題に分かれて開講されます。各セミナーは、１年次の人文社会科学科目の「主題に関連の深い科目」の担当者が担当する予定です（この１年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」については、次の【各学年の履修について】で説明します)。

どの主題に進むかを決定する時期は、２年進級時です。１年生の２月に「希望調査」を取り、希望を考慮しながら、各主題とも約３０名になるように振り分けます。

１年生の間に、色々な科目を履修しながら、自分がどの主題を選択するかを考えておいて下さい。

【各学年の履修について】

１年生：基盤の形成

必修科目・選択科目などで、さまざまな分野の科目が開講されています。それらに取り組むことにより、それぞれの学問分野における基礎的な知識や、科学的な思考方法を身につけます。

同時に、人間に関する根源的な問いに対して、これまで人間自身がどのようにアプローチし、どのように理論化してきたのかということを学びます。そして、「問いの継続と発展」という学問のありようを理解します。

１年生は、このように３年生のセミナーに向けて基礎体力を養いながら、自分がどの主題に進むかを考える期間です。

特に、人文社会科学科目には、「主題に関連の深い科目」が設けられています（下表）。自分が進むかもしれないと思う主題については、その「主題に関連の深い科目」の中にある科目を、積極的に履修しておくことをお勧めします。

主題に関連の深い科目は次の通りです。各授業の内容については、それぞれのシラバスを参照して下さい。

主題	関連の深い科目
文化と人間	文化人類学、歴史学、社会学
生命と人間	哲学、倫理学、宗教学
言語と人間	文学、哲学、文化人類学
時間と人間	歴史学、社会思想史、社会学
制度と人間	政治学、法学、社会科学特論

２・３年生前期：主題別選択科目―視点の拡充―

２・３年生では、前期の木曜日午前中に、「主題別選択科目」が開講されます。

「主題別選択科目」とは、主題について考察できる、様々な学問分野にまたがった複合的な内容の選択科目です。各科目とも、５０分間の授業が７回行われます。２年生と３年生が合同で受講します。具体的には、各主題において、下表のような科目が開講されます。開講科目は、若干の変更の可能性があります。２年前期の前半７回、前期の後半７回、３年前期の前半７回、前期の後半７回にそれぞれ１科目ずつ履修します。自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から２科目以上を履修することが必要です。ただし、２年前期の前半・後半はいずれも、自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から履修しなければなりません。また、同一教員の科目を２回以上選択することはできません。前半７回と後半７回、合計２科目を履修して、１単位取得となります。

（例）「言語と人間」を選択した学生

→２年前期の前半７回「バルト『エッフェル塔』を読む」履修

〃　　後半７回「数理理論と形式言語」履修

（この２科目で１単位取得）

主題	主題別選択科目（28 年度開講）	
	２・３年の前期前半７回（50 分×７回）	２・３年の前期後半７回（50 分×７回）
文化と人間	いのちと医療の歴史学（田中） スポーツと心（水野） バルト『エッフェル塔』を読む（中島） ドイツとヨーロッパの社会（シンチ） 現代の日中関係（家永） 社会の中の数学（清田） 医療と物理の関係性（檜枝） 物理数学演習　（越野） 科学と疑似科学の境界（奈良） 食品の科学（大塚）	いのちと医療の倫理学（田中） スポーツと健康　(水野) フランス詩を読む（中島） ドイツとヨーロッパの現在（シンチ） 中国政治テクスト分析（家永） タンパク質科学の光と影（奈良） 民主主義を再考する（藤井）
生命と人間	スポーツと心（水野） 医療と物理の関係性（檜枝） 食品の科学（大塚） 生物の中の糖（勝又） 物理数学演習（越野） 宇宙と生命（服部） 生物間のコミュニケーション（伊藤） 医療の社会学（藤井） ヒトの脳と言語（時本）	スポーツと健康（水野） タンパク質科学の光と影（奈良） 生物利用の科学（大塚） 老化と寿命（服部） 環境への適応（伊藤） 英語で学ぶヒトの脳と言語（時本）
言語と人間	ディアスポラ（離散社会）の言語と文学（高尾） バルト『エッフェル塔』を読む（中島） ドイツとヨーロッパの社会（シンチ） 生物間のコミュニケーション（伊藤） ヒトの脳と言語（時本）	ディアスポラの文化（高尾） フランス詩を読む（中島） ドイツとヨーロッパの現在（シンチ） 中国政治テクスト分析（家永） 数理理論と形式言語（清田） 医療技術と物理（檜枝） 微分方程式演習（越野） 民主主義を再考する（藤井） 英語で学ぶヒトの脳と言語（時本）
制度と人間	いのちと医療の歴史学（田中） バルト『エッフェル塔』を読む（中島） ドイツとヨーロッパの社会（シンチ） 現代の日中関係（家永） 社会の中の数学（清田） 科学と疑似科学の境界（奈良） 医療の社会学（藤井）	ドイツとヨーロッパの現在（シンチ） 中国政治テクスト分析（家永） 数理理論と形式言語（清田） 医療技術と物理（檜枝） 微分方程式演習（越野） 危険物の科学（勝又） 民主主義を再考する（藤井）
時間と人間	語り（ナラティヴ）の構造（土佐） ドイツとヨーロッパの社会（シンチ） 現代の日中関係（家永） 食品の科学（大塚） 宇宙と生命（服部） 医療の社会学（藤井）	語り（ナラティヴ）と時間（土佐） いのちと医療の倫理学（田中） フランス詩を読む（中島） ドイツとヨーロッパの現在（シンチ） 中国政治テクスト分析（家永） 数理理論と形式言語（清田） 医療技術と物理（檜枝） 微分方程式演習（越野） タンパク質科学の光と影（奈良）

		生物利用の科学（大塚） 老化と寿命（服部） 環境への適応（伊藤） 民主主義を再考する（藤井）

また、３年次に行われる主題別人文社会科学セミナーの担当者から、２年生の間にやっておくべき課題が提示される場合があります。２年生は、「主題別選択科目」を受講し、同時にその課題に取り組みながら、主題に関する視点の拡充をめざします。

３年生：主題別人文社会科学セミナー―思考の深化―

３年生では、主題ごとに、セミナーを受講します。

各主題の学生３０人を、１０人ずつのグループＡ・Ｂ・Ｃに分けます。セミナーは、このグループごとに、７回ずつ行われます。セミナーを担当する教員は、１年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」担当教員の予定です。

セミナーと平行して、「医療と法」および「医療と社会」という二つの講義科目が７回ずつ開講されます。グループごとに「セミナー」「医療と法」「医療と社会」を７回ずつ受講します。そして、学年の最後に開講される「総括セミナー」において、主題に関する自らの取り組みをレポートにまとめます。「総括セミナー」は、主題ごとに３０人全員が参加し、討論を経てレポート執筆に取り組みます。

<table>
<tr><td rowspan="2">グループ
（各１０人）</td><td colspan="2">前　期</td><td colspan="2">後　期</td></tr>
<tr><td>前半７回</td><td>後半７回</td><td>前半７回</td><td>後半７回</td></tr>
<tr><td>グループＡ</td><td>セミナー</td><td>医療と社会</td><td>医療と法</td><td rowspan="3">総括セミナー
（セミナー論文執筆）</td></tr>
<tr><td>グループＢ</td><td>医療と法</td><td>セミナー</td><td>医療と社会</td></tr>
<tr><td>グループＣ</td><td>医療と社会</td><td>医療と法</td><td>セミナー</td></tr>
</table>

１年生において基礎力を身に付け、自ら問いを見出す意識を養い、２年生「主題別選択科目」において視野を広げてきました。３年生「主題別人文社会科学セミナー」では、それらを前提にして、問題を設定し結論の導出を目指します。

問題設定は、自らの興味や関心にもとづいて、担当教員のアドバイスを受けながら、学生それぞれが設定します。その問題について、調査や考察を行い、またその結果を他の受講生と共有して、問題点を指摘しあいながら結論を導き出すのが「セミナー」です。そして、これらを集大成するのが、「総括セミナー（セミナー論文執筆）」です。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」、ここがこの主題別教育のゴール地点となります。

「総括セミナー（セミナー論文執筆)」までの予定

4 月 7 日（木）: 各主題でオリエンテーション。
担当者より、セミナー計画・日程・セミナー論文の問題設定の仕方などについて説明。

4 月 14 日（木）～12 月 1 日（木）: セミナーと講義

12 月 8 日（木）～平成 29 年 2 月 2 日（木）: 総括セミナー

2 月 10 日（金）: 提出締切（予定）

【今後の予定】

2 年生　4 月～9 月　「主題別選択Ⅰ」受講
3 月　「主題別人文社会科学セミナー」履修の説明

3 年生　4 月～9 月　「主題別選択Ⅱ」受講
4 月～3 月　「主題別人文社会科学セミナー」受講

【成績・評価について】

主題別選択Ⅰ・Ⅱ　前半と後半をあわせてそれぞれ 1 単位。
原則としてレポート（80 点)、出席（20 点）で評価。
ただし、レポートの代替として、授業の最終日に試験を実施することがある。

主題別人文社会科学セミナーと講義　あわせて 2 単位
原則として講義における試験と総括セミナーにおけるレポート（80 点)、出席（20 点）で評価。

主題別選択Ⅰ・Ⅱ

時間割番号	000601		
科目名	主題別選択Ⅰ（語り（ナラティブ）の構造）		
担当教員	土佐　朋子		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜２限
・対象学科：医学科・歯学科
・受講資格：「言語と人間」「時間と人間」の主題であること
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

授業の目的、概要等

人間は、自らを存在させるために「語り」を必要とする生き物である。

本授業の目的は、人間の「語り」の構造について、基本的な考え方を学び、理解を深めることである。到達目標は、3 年次のセミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」という観点から養われることである。

古典から近現代までの複数の文学作品を用いながら、それぞれの語りの特徴を指摘し、そのことがどのような効果を発揮し得るかを考察する。

授業の到達目標(SBOs)

①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。
②3 年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子

授業方法

講義を中心とする。

授業内容

語りが成立するために必要な要素の確認から始め、それらがどのように機能して、どのような構造を作っているかを、作品を通して具体的に考察する。とりあげる作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、江戸川乱歩『人間椅子』、夏目漱石『こころ』、森鷗外『舞姫』、芥川龍之介『藪の中』などを予定している。

成績評価の方法

評価：試験０％・レポート 80％
　　その他 20％（授業への参加度・授業中の小レポート等）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示 作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。
試験の受験資格 レポート提出には、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。
教科書 プリントを使用する。
参考書 『対象喪失 ：悲しむということ』／小此木 啓吾／著,:中央公論新社, 1979 『時間と自我』／大森荘蔵:青土社, 1992 『ナラティブ・メディスン ：物語能力が医療を変える』／Rita Charon [著]斎藤清二, 岸本寛史, 宮田靖志, 山本和利 訳,:医学書院, 2011 『ナラティブ・ベイスト・メディスン ：臨床における物語りと対話』／トリシャ・グリーンハル 編集,ブライアン・ハーウィッツ 編集,斎藤 清二 監訳,山本 和利 監訳,岸本 寛史 監訳,:金剛出版 『臨床とことば』／河合隼雄, 鷲田清一 著,:朝日新聞出版, 2010 『ナラティヴと医療』／江口重幸, 斎藤清二, 野村直樹 編,:金剛出版, 2006 『ほんとうの構造主義 ：言語・権力・主体』／出口顯 著,:NHK 出版, 2013 物と心／大森荘蔵 著,:筑摩書房, 2015
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先 土佐 朋子:tosa.las@tmdac.jp
オフィスアワー 土佐 朋子:毎週水曜 PM 12:30-PM 14:50 管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000602		
科目名	主題別選択Ⅰ（いのちと医療の歴史学）		
担当教員	田中　智彦		
開講時期	前期	対象年次	2

◇ 曜日・時間：木曜２限

◇ 対象学科：医学科・歯学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表１-３）人間の歴史的営みを理解する

別表１-５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表１-10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

私たちの「ものの見方」は、私たちが思っている以上に、私たちの言語・文化・歴史に影響され、制約されています。「いのち」や「医学・医療」についても例外ではありません。それどころか、この二つのうちにこそ私たち現代人の「ものの見方」が典型的に映し出されている、と言っても過言ではないほどです。しかし他方で、そうした「ものの見方」はふだん「当たり前」のこととして通用しているので、そこからは何がどのように見えているのか、そしてまた見えていないのかは、なかなか問われることがありません。

あらためてそのような問いを立て、それを歴史の観点から考察してゆくのがこの授業です。他の人びとは別にしても、「医学・医療」を志し、「いのち」に関わることを一生の仕事にしようとするのなら、せめて一度なりともそのような問いに取り組んでみる必要があるでしょう。この授業ではそうした機会を提供するべく、「授業詳細日程」に記すような論点について検討してゆきます。

授業の到達目標(SBOs)

（1）上記の試みをつうじて、近代以降の「いのち」へのまなざしの変遷とその問題点とについて理解を深めること。

（2）それとともに、近代以降の医学・医療の展開における問題点をも省みることのできる視点を得ること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55	医学科演習室５―３，医学科演習室５―４	田中　智彦
2	4/14	10:05-10:55	医学科演習室５―３，医学科演習室５―４	田中　智彦
3	4/21	10:05-10:55	医学科演習室５―３，医学科演習室５―４	田中　智彦
4	4/28	10:05-10:55	医学科演習室５―３，医学科演習室５―４	田中　智彦
5	5/12	10:05-10:55	医学科演習室５―３，医学科演習室５―４	田中　智彦
6	5/19	10:05-10:55	医学科演	田中　智彦

			習室5ー3，医学科演習室5ー4	
7	5/26	10:05-10:55	医学科演習室5ー3，医学科演習室5ー4	田中　智彦
8	6/2	10:05-10:55	医学科演習室5ー3，医学科演習室5ー4	田中　智彦

授業方法

授業は講義形式で行う予定です。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

「授業詳細日程」にある通り

成績評価の方法

◇評価：レポート　80％

その他　20％（出席状況、コメントシートへの回答など）

◇再評価：有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。

試験の受験資格

◇ レポートの提出資格：原則7回中5回以上の出席

教科書

教科書はありません。毎回レジュメを配布します。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介します。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

連絡先

田中　智彦 tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中　智彦 毎週月曜日　12：30～13：30　管理研究棟2階　哲学研究室

時間割番号	000633		
科目名	主題別選択Ⅰ（ディアスポラ（離散社会）の言語と文学）		
担当教員	髙尾　千津子		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間：木曜２限
対象学科：医・歯学科
受講資格：「文化と人間「言語と人間」選択者
募集人数：20 人

授業の目的、概要等

ディアスポラとは本国を持たない、あるいは本国から遠く離れた離散社会を意味する。ユーラシアの西の「半島」であるヨーロッパには、様々な独自の言語を持つ民族的、宗教的マイノリティが存在した。しばしば変わる国境線、人口の移動は、さらに新たなディアスポラを生み、それは社会の緊張要因ともなったが、同時に多様な社会と文化、文学を生み出した。授業では、ヨーロッパの少数派言語と多言語社会の歴史と現状を紹介し、こうしたディアスポラの言語のもつ意味を考える。

授業の到達目標(SBOs)

人類の言語の多様性が持つ意味を知る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子

授業方法

講義形式

授業内容

1ディアスポラの言語
2ヨーロッパと多言語主義
3少数言語と「言語戦争」
4「ジャルゴン」　蔑まれた言語
5「死語」を復活させる

6共通言語の試み 7エスペラント語を学ぶ
成績評価の方法 評価 ： 試験 0％ ・ レポート 80 ％ ・ その他（授業への参加度） 20％ 再評価： 有（再評価方法）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。
教科書 授業でプリントを配布する。
参考書 田中克彦『エスペラント―異端の言語』岩波新書、2007 年。 ショーレム・アレイヘム、西成彦訳『牛乳屋テヴィエ』岩波文庫。 ロバート・セントジョン、島野信宏訳『ヘブライ語の父ベン・イェフダー』ミルトス、2000 年。 西成彦『イディッシュ 移動文学論』作品社、1995 年。
履修上の注意事項 3 分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 髙尾 千津子:takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 髙尾 千津子:毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000603		
科目名	主題別選択Ⅰ（スポーツと心）		
担当教員	水野　哲也		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間：木曜
対象学科：医学科・歯学科　2 年
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1－7）人間の心への理解を深める
　別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

授業の目的、概要等

本授業では、競技スポーツにおける心をテーマにいくつかの視点からこれまでに提示された理論を紹介し、スポーツにおける心の問題を考える。また、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツと心」について発表し、その中身について共に考えたい。

授業の到達目標(SBOs)

本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと心」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に 2000 字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也

授業方法

授業は講義形式で実施するが、その中で実習形式の内容がいくつかある。また後半は、その学習効果を上げるために発表、討議型の授業を行う。

授業内容

「スポーツと心の関係性」、「リラックスと集中」、「メンタルタフネス」、「動機づけ」、「ピークパフォーマス」について概説する。その後、受講者の発表を行い、意見交換する。

成績評価の方法

評価：出席 30％、各授業時の参加度 20％、レポート 50％
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体性をもって主題（自ら選択したテーマ）について考える積極的な態度や姿勢が求められる。発表の内容をしっかり準備してください。

試験の受験資格

本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。
参考書 最新スポーツ心理学 ：その軌跡と展望／日本スポーツ心理学会 編,:大修館書店, 2004 実践メンタルタフネス／ジム・レーヤー 著,ジェフリー・ミグドゥ 著,小林 信也 訳,:TBSブクタニカ
他科目との関連 1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。
連絡先 水野 哲也mizuno.has@tmdac.jp
オフィスアワー 水野 哲也毎週金曜日 AM.11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

時間割番号	000604		
科目名	主題別選択Ⅰ（バルト『エッフェル塔』を読む）		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表1―1）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表1―3）人間の歴史的営みを理解する
　別表1―4）異なる空間の文化を理解する

主な講義場所

湯島

授業の目的、概要等

フランスの批評家、ロラン・バルトの『エッフェル塔』を講読します。日本でも、2012 年にスカイツリーが完成し、これを機に、東京タワーも含めて、人々がこうした建築物に抱く思いが様々なメディアで特集されました。こうした建築物は時代を象徴し、人々の思いが集約される場となっています。エッフェル塔は今では代表的なパリの観光名所ですが、19世紀に建築された当時は醜い鉄の塔としてさんざんな悪評を蒙りました。バルトはこのエッフェル塔という「記号」が持つ意味を、パリの都市構造とも関連づけながら重層的に分析していきます。授業では、バルト独自の表現やものの見方を味わい、具体例を通して、バルトの分析手法や考え方の特徴を理解することを目的とします。

授業の到達目標(SBOs)

1）バルト独特の分析方法やレトリックを味わう。
2）エッフェル塔を通じてフランス文化の一端を知る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる

授業方法

講義形式で、最初に概要を説明した後、1回に文庫本にして約20ページを講読・解説します。
ただし、バルトの思考に触れて、各自の自分なりのコメントを求めます。

授業内容

バルトの分析に沿って、エッフェル塔を通じて、人間の視線の作用、塔という小空間の意味、鉄という素材の意味、塔の社会的・歴史的象徴性等を見ていきます。構造主義、複製技術、技術と芸術、パリの都市構造、19 世紀等、関連したトピックスを扱います。

おおよそ以下のような順序で進めます。
1 回目：パリとエッフェル塔（概要説明）
2 回目：視線と構造主義

3 回目：パリの都市構造
4 回目：小世界（閉じた世界と開かれた世界）
5 回目：石と鉄（近代産業）
6 回目：社会的表徴としてのエッフェル塔(19 世紀)
7 回目：エッフェル塔の象徴性
8 回目：意見交換とまとめ

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）0%・レポート 90%・
その他 10%（出席・授業への参加度）
再評価：有 （再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

初回の導入以外は、毎回、授業で扱う範囲については内容に目を通し、授業中の議論に参加できるよう準備して下さい。講義形式で内容を解説しますが、それについて自分なりの見解をもてるようにして下さい。

試験の受験資格

2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

エッフェル塔／ロラン・バルト 著,宗左近, 諸田和治 訳,:筑摩書房, 1997

参考書

ロラン・バルト『ロラン・バルト著作集』 全 10 巻 みすず書房

履修上の注意事項

教室に出欠管理システムの端末がないと思われますので、教員が毎回出欠を取ります。 教科書は必ず購入して下さい。購入せず出席した場合は欠席と見なします。

連絡先

中島 ひかる nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中島 ひかる 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000605		
科目名	主題別選択Ⅰ（ドイツとヨーロッパの社会）		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	2

・前期前半
・曜日・時間：木曜２限
・対象学科：医学科・歯学科
・受講資格：ドイツ語ａｂｃｄ４単位を持っていること
・募集人数：3 年生とあわせて 20 人
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－２）社会制度や仕組みについての基本を理解する
　別表１－３）人間の歴史的営みを理解する
　別表１－４）異なる空間の文化を理解する
　別表３－４）外国文化を理解する
　別表３－５）国際情勢を理解する

主な講義場所

湯島キャンパス
３号棟4階演習室４－１１，１２

授業の目的、概要等

ドイツ語で書かれた教科書を読みながら、ドイツとヨーロッパの社会について学んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！
ドイツ政府やEU のホームページも見ていきます。時間があれば、DVD も見ます。毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。

授業の到達目標(SBOs)

ドイツの地理と社会について教科書で読んでから、ドイツ政府とEU についても学び、
「ドイツ再統一」に至った経緯について学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
2	4/14	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
3	4/21	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
4	4/28	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ

5	5/12	1005-1055	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ
6	5/19	1005-1055	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ
7	5/26	1005-1055	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ
8	6/2	1005-1055	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ

授業方法

セミナー形式;毎回教科書を読んで訳してから、ドイツ政府や EU のホームページの内容を読みます。時間があればドキュメンタリー映像も見ます。

授業内容

初回:オリエンテーション、第1課 (1ページ)
第2回～第3回:第2課と第3課 (3ページと6ページ)
第4回～第6回:第4課(9～13ページ)を読みながら、ドイツ再統一に至った経緯を考えます。インターネット、DVD も使用する予定。
第7回:理解の度合いを調べるため、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。
試験が50パーセント。
再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時に使った文法と会話の両方の教科書をしっかり復習しておいてください。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座など活用してみてください。
・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

教科書

ドイツとドイツ語を話す国々に／Heinz Griesbach [著],松本嘉久 編,:朝日出版社, 1994
教科書以外にも様々なプリントなどの教材を使用します。
それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008
アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴

木敦典 編集執筆,:同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 4 月 7 日は休講となりますので、第 1 回目は 4 月 14 日となります。注意してください。 毎回出席を取ります。 毎回教科書と電子辞書か独和辞典を持ってきてください。
連絡先 シンチンガー エミ schinzinger.has@tmd.ac.jp
オフィスアワー シンチンガー エミ 毎週月曜日 16:30 ー18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000808		
科目名	主題別選択Ⅰ（現代の日中関係）		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	前期	対象年次	2

授業の目的、概要等

最近の雰囲気からは想像し難いかもしれませんが、今から約 40 ほど前には「蜜月」とも呼ばれる日中友好の時代がありました。この授業では、1972 年の「日中国交正常化」から今日に至るまでの日中関係が、どのような歩みをたどってきたのかを学んでもらいます。今後の日中関係について考えるきっかけとすると同時に、世の中はどのように変化していくのかという「時間感覚」も体感してもらえれば幸いです。

授業の到達目標(SBOs)

『日中関係史 1972-2012』全 3 巻(2012 年、東京大学出版会)を参考に、日中間の社会・文化・政治・経済にまつわる諸問題について理解を深めることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55	大学院講義室 3	家永　真幸
2	4/14	10:05-10:55	大学院講義室 3	家永　真幸
3	4/21	10:05-10:55	大学院講義室 3	家永　真幸
4	4/28	10:05-10:55	大学院講義室 3	家永　真幸
5	5/12	10:05-10:55	大学院講義室 3	家永　真幸
6	5/19	10:05-10:55	大学院講義室 3	家永　真幸
7	5/26	10:05-10:55	大学院講義室 3	家永　真幸
8	6/2	10:05-10:55	大学院講義室 3	家永　真幸

授業方法

講義形式で行いますが、毎回短いグループディスカッションの時間を設け、協力してコメントシートを書いていただく予定です。そこで出された質問や興味深い意見は翌週の授業冒頭で紹介し、教員からの回答を行います。みなさんの積極的な参加を期待します。最終回は総合討論の日とし、みなさんのコメントの中からこちらでテーマを選定し、議論する予定です。

教員が新入生箱根オリエンテーションの引率で不在のため、第 1 回は休講です。

授業内容

初回時に受講者の顔ぶれを見て調整しますが、今のところ下記トピックを扱うことを考えています。

第 1 回 （教員が新入生箱根オリエンテーション引率のため休講）
第 2 回 ガイダンス、日中国交正常化(1972 年)
第 3 回 尖閣問題概論
第 4 回 対中ＯＤＡ の開始(1979 年)
第 5 回 六・四天安門事件(1989 年)
第 6 回 アジアカップ騒動(2004 年)
第 7 回 池袋チャイナタウン構想(2008 年)
第 8 回 総合討論

成績評価の方法

評価：試験０％・レポート８０％

その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況） 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 毎回プリントを配布します。予習は特に必要ありませんが、授業で得た知識を自分なりに整理し、レポートに活かすことを要求します。
参考書 日中関係史1972-2012：Ⅲ社会・文化／園田茂人編：東京大学出版会，2012 日中関係史1972-2012：Ⅰ政治／高原明生編：東京大学出版会，2012 日中関係史1972-2012：Ⅱ経済／服部健治・丸川知雄編：東京大学出版会，2012
連絡先 家永　真幸：enagas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 家永　真幸：毎週月・水曜日　PM12:20-PM13:10　管理研究棟3階309室

時間割番号	000607		
科目名	主題別選択Ⅰ（社会の中の数学）		
担当教員	清田　正夫		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時限：木曜日２時限
対象学科：医学科、歯学科
受講資格：
募集人数：30人以下
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2-4）

授業の目的、概要等

数学と日々の生活は無縁のものと考える人は多いが、身の回りにある道具や装置に数学の理論が応用されている例は無数にある。ここでは、ＣＤ の信頼性を保証する誤り訂正符号、機密事項の伝達に用いられる鍵公開暗号、ＣＴ スキャンの基本原理であるラドン変換を取り上げ、それらの数学的基礎を解説する。主として講義形式で行なうが、項目によっては学生に発表させることもある。

授業の到達目標(SBOs)

数学理論が社会のなかでどのように応用されているかを、実例を通して理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
2	4/14	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
3	4/21	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
4	4/28	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
5	5/12	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
6	5/19	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
7	5/26	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
8	6/2	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫

授業方法

主として講義を行なう。

授業内容

第1回ー第2回　誤り訂正符号とハミング符号
第3回ー第4回　鍵公開暗号とＲＳＡ 暗号
第5回ー第7回　フーリエ変換とラドン変換

成績評価の方法

評価：試験0%・レポート80%・その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

準備学習などについての具体的な指示

講義内容の詳細をＷebＣlassに載せているので、復習すること。

教科書

プリントを配付する。
授業資料はＷebＣlassに掲載してある。

履修上の注意事項
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。
連絡先
清田　正夫kiyota.has@tmdac.jp
オフィスアワー
清田　正夫 毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000635		
科目名	主題別選択Ⅰ（医療と物理の関係性）		
担当教員	檜枝　光憲		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間：木曜2限
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1）別表2－2）別表2－4）
別表4－2）

授業の目的、概要等

生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きは力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。本授業は参加者のゼミ形式で進め、自らの発表を通して医療と物理の密接な関係性について理解を深めていきます。

授業の到達目標(SBOs)

医療と物理の関係性について具体例がイメージできるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
2	4/14	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
3	4/21	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
4	4/28	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
5	5/12	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
6	5/19	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
7	5/26	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
8	6/2	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲

授業方法

ゼミ形式で行います。
初回に分担を決め、順番に発表を行ってもらいます。

授業内容

第1回　イントロダクション
第2回　力学と人体
第3回　流体と人体
第4回　熱と体温
第5回　音と光と人体
第6回　電気と磁気の世界
第7回　原子と放射線
第8回　総括

成績評価の方法

評価　：　その他　100　％
（発表点、レポート点（発表資料）、平常点（出席、議論等への参加度））
再評価：　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示 発表準備のために教科書以外の関連図書を探して読むこと。
参考書 医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,: 東京教学社, 2013
履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。　出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。
連絡先 檜枝 光憲hiedaｌas@tmｄac.jp
オフィスアワー 檜枝 光憲毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000609		
科目名	主題別選択Ⅰ（物理数学演習）		
担当教員	越野　和樹		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜2限
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表2－1）
　別表4－2）

授業の目的、概要等

私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。

授業の到達目標(SBOs)

問題演習をとおして，数理科学的能力を高めること

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹

授業方法

各講義の前半に基礎知識の確認を行い，後半を試験とする。

授業内容

・物理数学演習
・電磁気学演習
・力学演習

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）0%・レポート0%・その他（各講義での小テスト）100%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

特別な準備は必要ないが，講義前半の基礎知識確認に集中すること.

参考書

「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか　共立出版

履修上の注意事項

解析学・線形代数の双方に十分な技術を有することを前提としている.

連絡先

越野　和樹:kuzak.has@tmdac.jp
オフィスアワー
越野　和樹:毎週月曜日 12:00--13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000606		
科目名	主題別選択Ⅰ（科学と疑似科学の境界）		
担当教員	奈良　雅之		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する
1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる
4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

巷には「プラズマクラスターイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学（疑似科学）に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。

授業の到達目標(SBOs)

授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之

授業方法

講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。

授業内容

社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。

成績評価の方法

評価：試験0%・レポート80%
　　その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：配付資料、関連資料に目を通してください。

復習：興味のある項目について、文献を調べてください。
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席 （レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。）
教科書 なぜ疑似科学が社会を動かすか／石川幹人：PHP 新書，2016
参考書 嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著，：文藝春秋，2014 メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著，：名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫，2010 科学と人間の不協和音／池内了 [著]，：角川書店，2012 活性酸素／高柳 輝夫 編，大坂 武男 編，大坂 武男 [ほか]共著，日本化学会 監修，：丸善 博士漂流時代 ：「余った博士」はどうなるか？／榎木英介 [著]，：ディスカヴァー・トゥエンティワン，2010 水素水とサビない身体／太田成男 著，：小学館，2013 疑似科学入門／池内 了 著，：岩波書店
連絡先 nara.has@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM 0:00-PM 2:00，毎週金曜日 PM 0:00-PM 1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000611		
科目名	主題別選択Ⅰ（食品の科学）		
担当教員	大塚　淳		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間：木曜日（前半 8 回）・2 時限
対象学科：医学科・歯学科
募集人数：30 名（主題別選択Ⅱ（食品の科学）と合わせて）
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表1－3）人間の歴史的営みを理解する
　別表2－1）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

授業の目的、概要等

食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性（生体調節機能）」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。

授業の到達目標(SBOs)

食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	大学院講義室4	大塚　淳
2	4/14	1005-1055	大学院講義室4	大塚　淳
3	4/21	1005-1055	大学院講義室4	大塚　淳
4	4/28	1005-1055	大学院講義室4	大塚　淳
5	5/12	1005-1055	大学院講義室4	大塚　淳
6	5/19	1005-1055	大学院講義室4	大塚　淳
7	5/26	1005-1055	大学院講義室4	大塚　淳
8	6/2	1005-1055	大学院講義室4	大塚　淳

授業方法

講義による

授業内容

食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。

成績評価の方法

評価　：　試験　0%　・　レポート　80%　・　その他（授業への参加度）　20%
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で扱った事項について参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。

試験の受験資格

2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

参考書
食品の科学／上野川修一, 田之倉優 編,: 東京化学同人, 2005
食品学 ：食品成分と機能性／久保田紀久枝, 森光康次郎 編,: 東京化学同人, 2011
連絡先
大塚 淳:ohtsuka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
大塚 淳:毎週金曜日 PM 12:00-PM 1:00 ヒポクラテスホール4階

時間割番号	000612		
科目名	主題別選択Ⅰ（生物の中の糖）		
担当教員	勝又　敏行		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間：木曜日　2限

対象学科：医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表1−10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

別表2−1）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

授業の目的、概要等

糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。

授業の到達目標(SBOs)

糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	医学科演習室5−1, 医学科演習室5−2	勝又　敏行
2	4/14	1005-1055	医学科演習室5−1, 医学科演習室5−2	勝又　敏行
3	4/21	1005-1055	医学科演習室5−1, 医学科演習室5−2	勝又　敏行
4	4/28	1005-1055	医学科演習室5−1, 医学科演習室5−2	勝又　敏行
5	5/12	1005-1055	医学科演習室5−1, 医学科演習室5−2	勝又　敏行
6	5/19	1005-1055	医学科演習室5−1, 医学科演習室5−2	勝又　敏行
7	5/26	1005-1055	医学科演習室5−1, 医学	勝又　敏行

			科演習室5―2	
8	6/2	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	勝又 敏行

授業方法

講義形式による

授業内容

1. 糖とは何か
2. 糖の種類、および構造、性質
3. 糖の分析法
4. 植物における糖
5. 人の中の糖1
6. 人の中の糖2
7. 糖と疾病

成績評価の方法

評価：試験 0%、レポート 100%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ａｊｉｔ Ｖａｒｋｉ［ほか編］鈴木康夫, 木全弘治 監訳,：丸善, 2010

連絡先

勝又 敏行katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス2 階化学実験準備室

時間割番号	000613		
科目名	主題別選択Ⅰ（宇宙と生命）		
担当教員	服部　淳彦		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。
　１－１０）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。

授業の目的、概要等

日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無（微小）重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物（ヒトも含めて）に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。

授業の到達目標(SBOs)

生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦

授業方法

セミナー形式による（各自に発表してもらう）。したがって、募集人数は15名をMAXとする。

授業内容

宇宙環境と生物（概論）
無（微小）重力と生物（1）
無（微小）重力と生物（2）
宇宙放射線と生物（1）
宇宙放射線と生物（2）
宇宙医学（1）
宇宙医学（2）

成績評価の方法

評価：その他　100％
平常点（参加度）と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示
主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。
連絡先
服部　淳彦ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
服部　淳彦毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ4F　教員研究室(A2)

時間割番号	000614		
科目名	主題別選択Ⅰ（生物間のコミュニケーション）		
担当教員	伊藤　正則		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1ー1）言語を通した人間の創造的営みを理解する。
　別表2ー4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

授業の目的、概要等

この授業の目的は次の1）～4）である。
1）生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。
2）この分野における研究の現状を理解する。
3）基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。
4）研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

1）生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。
2）基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。
3）研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
2	4/14	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
3	4/21	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
4	4/28	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
5	5/12	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
6	5/19	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
7	5/26	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
8	6/2	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則

授業方法

講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。

授業内容

ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。

成績評価の方法

評価：試験 0%・レポート 80%
　その他 20%（授業への参加度・授業中の回答状況）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。
試験の受験資格 2/3以上出席したものにレポートの提出の資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 脳とホルモンの行動学／近藤　保彦：西村書店，2012 脳・神経科学入門講座 改訂版 前・後編／渡辺　雅彦：羊土社，2008 行動の神経生物学／GKH Zupanc：シュプリンガー・ジャパン，2007 化学受容の科学：匂い・味・フェロモン 分子から行動まで／東原　和成：化学同人，2012
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 伊藤　正則：itohm.tas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤　正則：毎週月曜日 AM 10:00-PM 2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000615		
科目名	主題別選択Ⅰ（医療の社会学）		
担当教員	藤井　達夫		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間:　木曜　2 限
対象学科:　医学科歯学科
募集人数:　25 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-8)、1-9)、1-10)、2-4)

授業の目的、概要等

この授業では、医療テクノロジーの発展の中で、医療が理想とした社会像や医療が実際に可能にした社会の仕組みを取り上げ、批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18 世紀から 20 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との根深く暗い関係を優生学の観点から議論します。さらに、20 世紀後半に登場する新しい優生学の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。

授業の到達目標(SBOs)

(1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する基礎的な知見について理解を深めることができる。
(2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫

授業方法

講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。

授業内容

第 1 回　医療が描く理想社会
第 2 回　医療と優生学
第 3 回　健康優良者からなる社会――ナチス・ドイツの例
第 4 回　健康優良者からなる社会――日本の例

第 5 回　現代の優生学とそのユートピア 第 6 回　生命が廃棄される社会の医療 第 7 回　まとめ ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。
成績評価の方法 評価 ： レポート 80％ ・ その他(授業での取り組み)　　20％ 再評価:　有(再評価方法)レポート
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 教科書は使用しません。
参考書 ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974 年) カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008 年) ジグムント・バウマン『近代とホロコースト』(大月書店、2006 年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。
連絡先 藤井　達夫教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 藤井　達夫教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000616		
科目名	主題別選択Ⅰ（ヒトの脳と言語）		
担当教員	時本　楠緒子		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日･時間:　木曜日･2 時限　(10:05-10:55)
対象学科:医･歯学科
募集人数:25 人
単位:前半 7 回と後半 7 回、合計 2 科目を履修して 1 単位取得
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する。 別表 1-7) 人間の心への理解を深める。 別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。 別表 2-4) 自己問題提起･解決型の学習方法を身につける。

授業の目的、概要等

なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。授業の前半では、言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を解説します。後半は、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。

授業の到達目標(SBOs)

(1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。
(2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。
(3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室12	時本　楠緒子
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室12	時本　楠緒子
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室12	時本　楠緒子
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室12	時本　楠緒子
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室12	時本　楠緒子
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室12	時本　楠緒子
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室12	時本　楠緒子
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室12	時本　楠緒子

授業方法

講義形式と授業内での質疑応答

授業内容

4 月 7 日　ヒトの脳構造(1)

4 月 14 日　ヒトの脳構造(2) 4 月 21 日　言語獲得の臨界期 4 月 28 日　母語、外国語、手話 5 月 12 日　動物の音声コミュニケーション(1) 5 月 19 日　動物の音声コミュニケーション(2) 5 月 26 日　言語の生物学的起源 6 月 2 日　総括
成績評価の方法 評価　:　試験　0 %・レポート　80 %・その他(授業への参加度)　20 % 再評価:　有(レポート提出)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習:配布資料がある場合には、目を通しておいてください。復習:興味のあるテーマを見つけたら、関連する文献を探して読んでください。
教科書 指定なし
参考書 (1) 言語と思考を生む脳/入來篤史 編 東京大学出版会 2008 (2) ヒトはいかにして人となったのか―言語と脳の共進化/テレンス・W.ディーコン著 新曜社 1999 (3) イラストレクチャー 認知神経科学 心理学と脳科学が読み解くこころの仕組み/村上郁也 オーム社 2011
履修上の注意事項 レポート提出の資格:原則 3 分の 2 以上の出席

時間割番号	000617		
科目名	主題別選択Ⅰ（語り（ナラティブ）と時間）		
担当教員	土佐　朋子		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜２限
・対象学科：医学科・歯学科
・受講資格：「言語と人間」「時間と人間」の主題であること
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

授業の目的、概要等

文学は時間芸術であるといわれる。

本授業の目的は、作品に展開される「語り」が「時間」をどのように編集しているのかを考察し、「時間」が人間の表現意図にもとづいて創造されるものであることを理解することである。到達目標は、３年次セミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」と「時間」という観点から養われることである。

授業の到達目標(SBOs)

①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。
②人間の時間認識にとって、言語が重要な役割を果たすことに気づく。
②3 年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子

授業方法

講義を中心とする。

授業内容

複数の文学作品にもとづいて、人間の語りにおける時間編集の諸相を確認する。また、「過去」という時間が、人間の言語活動によって創り上げられることを考察する。扱う作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、夏目漱石『こころ』、遠藤周作『海と毒薬』、夢野久作『瓶詰地獄』などを予定している。

成績評価の方法

評価：試験０％・レポート８０％
　　その他２０％（授業への参加度・授業中の小レポート等）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表２」による。

準備学習などについての具体的な指示

作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。

試験の受験資格 レポート提出には、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。
教科書 プリントを使用する。
参考書 『対象喪失 ：悲しむということ』／小此木　啓吾／著,:中央公論新社, 1979 『時間と自我』／大森荘蔵:青土社, 1992
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先 土佐　朋子:tosa.has@tmdac.jp
オフィスアワー 土佐　朋子:毎週水曜　PM 12:30-PM 14:50 管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000618		
科目名	主題別選択Ⅰ（いのちと医療の倫理学）		
担当教員	田中　智彦		
開講時期	前期	対象年次	2

◇ 曜日・時間：木曜２限

◇ 対象学科：医学科・歯学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表1-5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表1-9）市民としての倫理観を養う

別表1-10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

倫理と法は別のものです。しかしながら今日、「生命倫理」として語られることがらの多くにあっては、この二つがしばしば混同されがちです。日本のある著名な哲学者をして、一般に「生命倫理」と呼ばれているものは「本来なら生命倫理ではなく、生命法とでも呼ぶべきもの」である、と言わしめるゆえんです。

では、そうした倫理と法の混同はなぜ生じるのでしょうか。どのような帰結をもたらすのでしょうか。また、名ばかりではない「生命倫理」、つまり「生命法」ではない「生命倫理」があるとしたら、そこでは「いのち」や「医学・医療」をめぐって何が語られ、そして私たちには何が求められることになるのでしょうか。

この授業では「授業詳細日程」に記すような論点を通して、それら一連の問いを考察してゆきます。それはまた、「生命倫理」の現在を批判的に読み解き、未来を模索する試みともなるでしょう。

授業の到達目標(SBOs)

(1)上記の試みをつうじて、「医学・医療において倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。

(2)「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室9	田中　智彦
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室9	田中　智彦
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室9	田中　智彦
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室9	田中　智彦
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室9	田中　智彦
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室9	田中　智彦
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室9	田中　智彦

授業方法

授業は講義形式で行う予定です。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

「授業詳細日程」にある通り

成績評価の方法

◇評価：レポート　80％

その他　20％（出席状況、コメントシートへの回答など）

◇再評価：有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表２」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ レポートの提出資格：原則７回中５回以上の出席
教科書 教科書はありません。毎回レジュメを配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中　智彦 tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中　智彦 毎週月曜日　12:30～13:30　管理研究棟２階　哲学研究室

時間割番号	000634		
科目名	主題別選択Ⅰ（ディアスポラの文化））		
担当教員	髙尾　千津子		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間:木曜2限
対象学科:　医・歯学科
受講資格:「文化と人間「言語と人間」選択者
募集人数:20人

授業の目的、概要等

現代のグローバルな人間の移動は、世界各地に新しいディアスポラ文化を生み出している。国を追われた亡命者や難民だけでなく、国際的な労働力の移動という形での移民たちが、この新たな文化の担い手となっている。授業では移民社会とその文化を紹介し、多文化社会が投げかける問題点を考える。

授業の到達目標(SBOs)

人の移動にともなう文化変容と異文化間の相互理解を重要性を考える。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	大学院講義室3	髙尾　千津子
2	6/16	10:05-10:55	大学院講義室3	髙尾　千津子
3	6/23	10:05-10:55	大学院講義室3	髙尾　千津子
4	6/30	10:05-10:55	大学院講義室3	髙尾　千津子
5	7/7	10:05-10:55	大学院講義室3	髙尾　千津子
6	7/14	10:05-10:55	大学院講義室3	髙尾　千津子
7	7/21	10:05-10:55	大学院講義室3	髙尾　千津子

授業方法

講義形式

授業内容

1ディアスポラの歴史
2古典的なディアスポラ　1
3古典的なディアスポラ　2
4現代のディアスポラ　1
5現代のディアスポラ　2
6アメリカの移民と文化
7ヨーロッパの移民と文化

成績評価の方法

評価　:　試験　0　%　・　レポート80　　%　・　その他(授業への参加度　)　20%
再評価:　有(再評価方法)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業ごとにプリントを配布し、次回の参考文献を提示するので復習と予習をしておくこと。

教科書

授業でプリントを配布する。

参考書
駒井洋編『ヨーロッパ・ロシア・アメリカのディアスポラ』明石書店、2009 年。 有賀夏紀『アメリカの歴史　テーマで読む多文化社会の夢と現実』有斐閣、2003 年。 綾部恒雄編『アメリカの民族　ルツボからサラダボウルへ』弘文堂、1992 年。 内藤正典『ヨーロッパとイスラーム――共生は可能か』岩波新書、2004 年。
履修上の注意事項
3 分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先
髙尾　千津子:takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
髙尾　千津子:毎週金曜日　12:30～13:30

時間割番号	000610		
科目名	主題別選択Ⅰ（スポーツと健康）		
担当教員	水野　哲也		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間：木曜
対象学科：医学科・歯学科　2 年
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1ー4）異なる空間の文化を理解する
　別表1ー8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

授業の目的、概要等

本授業では、生活の身近にある「スポーツ」また「健康」とは何か？、を原点に立ち返えって、今一度考えてみたい。授業では、私（水野）の考える「スポーツとは？」、「健康とは？」を述べるが、これは私論である。よって、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツ」また「健康」とは？ を発表し、その本質について共に考えたい。

授業の到達目標(SBOs)

本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと健康」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に 1600～2000 字のレポートをまとめることを具体的な到達目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
2	6/16	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
3	6/23	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
4	6/30	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
5	7/7	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
6	7/14	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
7	7/21	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也

授業方法

授業は講義形式で実施するが、後半はその学習効果を上げるために発表、討議型の授業を行う。

授業内容

「スポーツとは？」、「健康とは？」、そして「文化とは？」について考え、その後「スポーツは文化か？」、「健康づくりは文化か？」などについて事例やデータを基に水野の私論を述べる。その後、受講者の発表を行い、意見交換する。

成績評価の方法

評価：出席 30%、各授業時の参加度 20%、レポート 50%
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体性をもって主題（自ら選択したテーマ）について考える積極的な態度や姿勢が求められる。発表の内容をしっかり準備してください。

試験の受験資格

本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。

参考書

痛快みんなのスポーツ学／辻秀一 著,:集英社インターナショナル, 2001
他科目との関連 １年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野のＳ科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。
連絡先 水野 哲也mizuno.has@tmdac.jp
オフィスアワー 水野 哲也毎週金曜日 AM.11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2階

時間割番号	000620		
科目名	主題別選択Ⅰ（フランス詩を読む）		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表1―1）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表1―6）優れた芸術作品に触れて感性を高める
　別表1―7）人間の心への理解を深める

主な講義場所

湯島

授業の目的、概要等

ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。

詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解しがたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。

授業の到達目標(SBOs)

1）フランス詩のニュアンス・表現を味わう。
2）文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	中島　ひかる
2	6/16	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	中島　ひかる
3	6/23	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	中島　ひかる
4	6/30	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	中島　ひかる
5	7/7	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	中島　ひかる

6	7/14	1005-1055	医学科演習室5ー1, 医学科演習室5ー2	中島 ひかる
7	7/21	1005-1055	医学科演習室5ー1, 医学科演習室5ー2	中島 ひかる

授業方法

講義形式によって、毎回、2、3篇の詩を講読します。

最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます。

授業内容

ロンサール、ラシーヌ、ボードレール、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。

おおよその予定は以下の通りですが、受講者の反応や希望によって取り上げる詩と順序は変更します。

1 回目:ジャック・プレヴェール

2 回目:ヴェルレーヌ等

3 回目:ロンサール、ラシーヌ等

4 回目:ボードレール、ランボー等

5 回目:マラルメ、アポリネール等

6 回目:ロマン派

7 回目:現代詩

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・

その他 20 %(授業への参加度)

再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。

試験の受験資格

2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

フランス名詩選／安藤元雄, 入沢康夫, 渋沢孝輔 編,:岩波書店, 1998

プリントを配付する

参考書

珊瑚集 ：仏蘭西近代抒情詩選／永井 荷風 訳,:岩波書店

上田敏全訳詩集／山内 義雄・ 矢野峰人 編,:岩波書店

悪の華／ボードレール 著,鈴木信太郎 著,:集英社

ヴァレリー詩集／ヴァレリー／著,鈴木 信太郎／訳,:岩波書店, 1979

月下の一群 ：訳詩集／堀口大學 訳,:岩波書店, 2013

ロンサール詩集／ピエール・ド・ロンサール／〔著〕,井上究一郎／訳,:岩波書店, 1989

ランボオ詩集／ランボオ [著],中原中也 訳,:岩波書店, 2013

地獄の季節／ランボー ／作,小林秀雄／訳,:岩波書店, 2008

ヴェルレーヌ詩集／ヴェルレーヌ [著],堀口 大学 訳,:新潮社

アポリネール詩集／アポリネール／〔著〕,堀口大学／訳,:新潮社, 1985

履修上の注意事項
出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われますので、教員が出欠をとります。
連絡先
中島　ひかる nakashima.las@tmdac.jp
オフィスアワー
中島　ひかる 毎週月曜　16:30～18:00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000621		
科目名	主題別選択Ⅰ（ドイツとヨーロッパの現在）		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	2

・前期後半
・曜日・時間：木曜２限
・対象学科：医学科・歯学科
・受講資格：ドイツ語ａｂｃｄ４単位を持っていること
・募集人数：3 年生とあわせて 20 人
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－３）人間の歴史的営みを理解する
　別表１－４）異なる空間の文化を理解する
　別表１－６）優れた芸術作品に触れて感性を高める
　別表１－７）人間の心への理解を深める
　別表３－４）外国文化を理解する

主な講義場所

湯島キャンパス
３号棟4階演習室４－１１，１２

授業の目的、概要等

ベルリンという特別な町について学ぶことによって、ドイツとヨーロッパの現在について考えていきます。具体的には、1986 年に初演されてから現在までベルリンで再演され続けている「Ｌｉｅ 1」という、ベルリンの地下鉄を題材にした音楽劇の中から、抜粋した箇所を読んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！
毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。

授業の到達目標(SBOs)

ベルリンについて学んでから、現代の演劇作品から多くの抜粋箇所を読むことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
2	6/16	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
3	6/23	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
4	6/30	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
5	7/7	10:05-10:55	医学科演	シンチンガー

			習室4ー11, 医学科演習室4ー12	エミ
6	7/14	10:05-10:55	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ
7	7/21	10:05-10:55	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ

授業方法

セミナー形式;初回はベルリンについてのオリエンテーションで、インターネットのページなど読みます。その次からは作品の一部を原文で読んで訳していきます。

授業内容

初回:ベルリンについてのオリエンテーション、プリント配布

第2回～第6回:「Linie 1」より抜粋を読んでいきます。毎回予習が必要です。1年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。

第7回:到達したところまでの内容について、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。

試験が50パーセント。

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくとよいです。他の参考書、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。

・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

教科書

1回目にプリントを配布します。

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,: 三修社, 2008

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,: 同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

毎回出席を取ります。　毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。

連絡先

シンチンガー　エミ schinzinger.has@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー　エミ 毎週月曜日 16:30－18:00　管理研究棟3階研究室

時間割番号	000809		
科目名	主題別選択Ⅰ（中国政治テクスト分析）		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	前期	対象年次	2

授業の目的、概要等

日本でも中国でも、政治・外交に関して政府が発表する声明の類は、さまざまな思惑が交錯した結果として、非常に微妙な言い回しになることがよくあります。この授業では、中国や東アジア国際関係にまつわる短めの政治文書や新聞記事などを、細かな言葉遣いの背景まで留意しながら読み解きます。

当初は中国語既修者を想定して開講しましたが、前年は未習者の履修希望も多かったため、日中関係や米中関係など日本語や英語で読める外交文書や報道の比重を増やしました。

授業の到達目標(SBOs)

近年の中国政治や東アジア国際関係に関する中国語、日本語、英語で書かれた文書の読解を通じ、それら文書の意義や歴史的背景について理解し、自分の言葉で説明できるようになることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
2	6/16	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
3	6/23	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
4	6/30	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
5	7/7	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
6	7/14	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
7	7/21	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸

授業方法

毎回取り扱うテキストを 1 つ指定・配布するので、事前に読んできていただき、授業時には必ず何か発言してもらいます。受講人数と顔ぶれを見て初回時に調整しますが、1 人 1 回報告も担当してもらう予定です。中国語未履修者も受講して構いません。

授業内容

初回時に受講者と相談して決めますが、今のところ下記トピックを扱うことを考えています。

第 1 回　ガイダンス、担当決め、序盤用テキスト配布
第 2 回　中華人民共和国国務院新聞弁公室≪釣魚島是中国的固有領土≫（2012 年 9 月）
　　日本外務省「尖閣諸島についての基本見解」（2013 年 5 月）「日中共同声明」（1972 年 9 月）
第 3 回　カイロ宣言（1943 年 11 月 27 日）
　　ポツダム宣言（1945 年 7 月 26 日）
サンフランシスコ講和条約（1951 年 9 月 8 日調印）
沖縄返還協定（1971 年 6 月 17 日調印）
第 4 回　日華平和条約（1952 年 4 月 28 日署名）
　　日中共同声明（1972 年 9 月 29 日）
米中「上海コミュニケ」（1972 年 2 月 28 日）
第 5 回　直近の中国報道より
第 6 回　台湾の蔡英文総統就任演説（2016 年 5 月 20 日発表見込）
第 7 回　総合討論

成績評価の方法 評価：試験0%・レポート80% 　　その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況） 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 各回の課題テキストは事前に指定するので、授業当日までに読んで来ることが求められます。授業で得た知識は自分なりに整理し、レポートに活かすことが望まれます。
連絡先 家永　真幸：enagaｌas@ｔｍｄａｃ.ｊｐ
オフィスアワー 家永　真幸：毎週月・水曜日　ＰＭ 12:20-ＰＭ 13:10　管理研究棟３階 309 室

時間割番号	000623		
科目名	主題別選択Ⅰ（数理論理と形式言語）		
担当教員	清田　正夫		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時限：木曜日 2 時限
対象学科：医学科、歯学科
受講資格：
募集人数：30人以下
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：1−1），2-1）

授業の目的、概要等

数理論理学とは記号を用いて論理を数学的に考察する学問分野である。命題論理、述語論理、直観主義論理、様相論理などの多様な論理が存在する。ここでは、主として第1階述語論理をタブロー法により解説する。さらに、自然言語の形式的取り扱いとしてチョムスキーの生成文法を学ぶ。授業は講義形式で行なうが、テーマによってはセミナー形式をとることもある。

授業の到達目標(SBOs)

第1階述語論理における恒真式をタブロー法により証明することが出来る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
2	6/16	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
3	6/23	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
4	6/30	1005-1055	特別講堂	清田　正夫
5	7/7	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
6	7/14	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
7	7/21	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫

授業方法

主として講義を行なう。

授業内容

第1回ー第2回　命題論理の意味論と構文論
第3回ー第5回　タブロー法による第1階述語論理
第6回ー第7回　チョムスキーの生成文法

成績評価の方法

評価：試験0%・レポート80%・その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義内容の詳細を WebClass に載せているので、復習すること。

教科書

プリントを配付する。
授業資料は WebClass に掲載してある。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。

連絡先

清田　正夫kiyota.has@tmdac.jp
オフィスアワー
清田　正夫毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000636		
科目名	主題別選択Ⅰ（医療技術と物理）		
担当教員	檜枝　光憲		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間：木曜2限
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1）別表2－2）別表2－4）
別表4－2）

授業の目的、概要等

医療技術は物理学と大いに関係しています。医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど本当に多くの医療のための基礎技術が物理学者によって発見されており、物理学と密接に関係しています。本授業はゼミ形式で進め、受講者自らの発表を通して医療技術と物理の密接な関係について理解を深めていきます。

授業の到達目標(SBOs)

医療技術と物理の関係について具体例がイメージできるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲

授業方法

ゼミ形式で行います。
初回に分担を決め、順番に発表を行ってもらいます。

授業内容

第1回　イントロダクション
第2回　医学と波・音（超音波）
第3回　医学と電気・電気技術（心電計、脳波計）
第4回　医学と光学（レンズ、顕微鏡）
第5回　医学と原子物理学（X 線、レーザー）
第6回　医学と原子核物理（磁気共鳴、放射線）
第7回　医学とナノテクノロジー

成績評価の方法

評価　：　その他　100　％
（発表点、レポート点（発表資料）、平常点（出席、議論等への参加度））
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

発表準備のために教科書以外の参考書や他の関連図書を探して読むこと。

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。　出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。
連絡先 檜枝　光憲hieda.hs@tmd.ac.jp
オフィスアワー 檜枝　光憲毎週月曜　11:00～13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000625		
科目名	主題別選択Ⅰ（微分方程式演習）		
担当教員	越野　和樹		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜2限
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表2－1）
　別表4－2）

授業の目的、概要等

私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。

授業の到達目標(SBOs)

問題演習をとおして，数理科学的能力を高めること

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹

授業方法

各講義の前半に基礎知識の確認を行い，後半を試験とする。

授業内容

・物理数学演習
・電磁気学演習
・力学演習

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）0%・レポート0%・その他（各講義での小テスト）100%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

特別な準備は必要ないが，講義前半の基礎知識確認に集中すること.

参考書

「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか　共立出版

履修上の注意事項

解析学・線形代数の双方に十分な技術を有することを前提としている.

連絡先

越野　和樹：kuzak.las@tmdac.jp

オフィスアワー

越野 和樹毎週月曜日 12:00--13:00 ヒポクラテス4階

時間割番号	000626		
科目名	主題別選択Ⅰ（タンパク質科学の光と影）		
担当教員	奈良　雅之		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
1-3)人間の歴史的営みを理解する。
1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる
2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る
4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴（NMR）、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。

授業の到達目標(SBOs)

授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之

授業方法

講義形式による。
（履修者が10名以下の場合は、履修者の希望に応じてセミナー形式で行うこともできます。）

授業内容

21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。

成績評価の方法

評価：試験0%・レポート 80%

その他（授業への参加度 20%）

再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：配付資料に目を通してください。

復習：興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

（レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。）

参考書

タンパク質の生命科学 ：ポスト・ゲノム時代の主役／池内俊彦 著,：中央公論新社, 2001

ポストゲノム時代のタンパク質科学 ：構造・機能・ゲノミクス／Arthur M Lesk 著,高木淳一 訳,：化学同人, 2007

入門構造生物学 ：放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く／高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編,：共立出版, 2010

タンパク質の構造と機能 ：カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳,：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM 0:00-PM 2:00, 毎週金曜日 PM 0:00-PM 1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000619		
科目名	主題別選択Ⅰ（生物利用の科学）		
担当教員	大塚　淳		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間：木曜日（後半7回）・2時限
対象学科：医学科・歯学科
募集人数：30名（主題別選択Ⅱ(生物利用の科学)と合わせて）
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表1ー3）　人間の歴史的営みを理解する
　別表1ー10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

農畜産物、発酵食品、衣類、医薬品、建築物などは、人間が過酷な環境で生き延び、豊かな生活を獲得することに貢献しました。これらは人間が他の生物を利用することによって得られたものがほとんどで、現在も非生物的なプロセスでは代替できないものが多く存在します。この授業では、食品、素材、医薬品等に関する生物利用の例に触れ、その多くが微生物のはたらきによって支えられていることを紹介します。人間がなぜ他の生物を利用しなければならなかったのか、および現在の私たちの生活がどのように成り立っているのかを理解してもらうことがこの授業の目的です。

授業の到達目標(SBOs)

生物利用の歴史と現状を科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめてもらいます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳

授業方法

講義形式と基本としますが、テーマによっては学生による発表形式を採用します。

授業内容

有用生物の特性と人間の関わりについて学びます。

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他（授業への参加度） 20%
再評価 ： 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で扱った事項について書籍やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめておいてください。 その他、教員からの指示を参考に学習してください。
試験の受験資格 2/3 以上出席した者に、レポート提出の資格を与えます。
連絡先 大塚　淳.ohtsuka.has@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大塚　淳.毎週金曜日　PM 12:00-PM 1:00　ヒポクラテスホール4階

時間割番号	000628		
科目名	主題別選択Ⅰ（危険物の科学）		
担当教員	勝又　敏行		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日・時間：木曜日　2限

対象学科：医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表1−2）社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表1−10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。

授業の到達目標(SBOs)

危険物の安全な取扱方法を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室1	勝又　敏行
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室1	勝又　敏行
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室1	勝又　敏行
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室1	勝又　敏行
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室1	勝又　敏行
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室1	勝又　敏行
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室1	勝又　敏行

授業方法

講義形式による

授業内容

1. 関係法令
2. 危険物とは何か
3. 第1類～第3類の性質
4. 第4類の性質
5. 第5類、第6類の性質
6. 消火法について
7. 火事の事例

成績評価の方法

評価：試験　0%、レポート　100%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。

参考書

基礎火災現象原論／James G Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳,: 共立出版, 2009

連絡先
勝又　敏行katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
勝又　敏行毎週木曜日 12:00-13:00　ヒポクラテス2階化学実験準備室

時間割番号	000629		
科目名	主題別選択Ⅰ（老化と寿命）		
担当教員	服部　淳彦		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。
　１－１０）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。

授業の目的、概要等

「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化と関連した病気についてはじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。

授業の到達目標(SBOs)

生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦

授業方法

セミナー形式による（各自に発表してもらう）。したがって、募集人数は15名をMAXとする。

授業内容

老化現象と老化の原因（概要）
骨の老化
皮膚の老化
脳の老化
血管の老化
老化と遺伝子
抗加齢医学

成績評価の方法 評価:その他　100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価:　有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。
連絡先 服部　淳彦ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 服部　淳彦毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ4F　教員研究室(A2)

時間割番号	000608		
科目名	主題別選択Ⅰ（環境への適応）		
担当教員	伊藤　正則		
開講時期	前期	対象年次	2

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する。
　別表2－4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

授業の目的、概要等

外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物では特定の刺激に対してほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。

授業の到達目標(SBOs)

1）生体の基本構造を説明することができる。
2）生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。
3）知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。
4）研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
2	6/16	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
3	6/23	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
4	6/30	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
5	7/7	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
6	7/14	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
7	7/21	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則

授業方法

講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。

授業内容

生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文（生物の環境適応に関する論文）を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。

成績評価の方法

評価：試験　0%・レポート　80%
　その他　20%（授業への参加度・授業中の回答状況）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示 予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。
試験の受験資格 2/3以上出席したものにレポートの提出資格を与える。
教科書 必要に応じて関連資料を配布する。
参考書 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／S S .M ader:医学書院, 2005 改訂版第2版 イラスト生化学・分子生物学／前野　正夫:羊土社, 2008 イラスト生理学／照井 直人:羊土社, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 伊藤 正則:itohm t.las@ tm d ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM 10:00-PM 2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000631		
科目名	主題別選択Ⅰ（民主主義を再考する）		
担当教員	藤井　達夫		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日･時間:　木曜　2 限
対象学科:　医学科歯学科
募集人数:　25 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-6)、1-7)、1-8)、1-9)、2-4)

授業の目的、概要等

この授業では、近代以降の民主主義の歴史をたどりながら、現在の民主主義の閉塞状況を批判的に検討します。この検討を手掛かりにして、これからの社会をどのように作り上げていくのか履修者の皆さんと一緒に考えます。誰もが民主主義は私たちの社会のあり方――医療制度を含め――を決定する重要な政治の原理であり、手続きであると認めます。しかしながら、民主主義の内実をしっかり理解している人はどれほどいるのでしょうか。今年度は、参議院選挙や憲法改正の動向の強まりをふまえ、憲法問題や日本の戦後民主主義にも焦点を当てていきます。

授業の到達目標(SBOs)

⑴民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の民主社会が抱える問題について議論することができる。
⑵人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することできる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	大学院講義室4	藤井　達夫
2	6/16	1005-1055	大学院講義室4	藤井　達夫
3	6/23	1005-1055	大学院講義室4	藤井　達夫
4	6/30	1005-1055	大学院講義室4	藤井　達夫
5	7/7	1005-1055	大学院講義室4	藤井　達夫
6	7/14	1005-1055	大学院講義室4	藤井　達夫
7	7/21	1005-1055	大学院講義室4	藤井　達夫

授業方法

講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。

授業内容

第 1 回　民主主義の赤字――現代の民主主義の何が問題か？――
第 2 回　古代の民主主義と近代の民主主義
第 3 回　民主主義と選挙――よくありがちな誤解について――
第 4 回　ポピュリズムとエリート主義――民主主義の病理について――
第 5 回　戦後民主主義とは何か――その始まりから考える――
第 6 回　憲法と民主主義――立憲主義･憲法制定権力･憲法改正――
第 7 回　　まとめ
※以上の授業計画には、変更の可能性があります。

成績評価の方法

評価　:　レポート　80%　･　その他(授業での取り組み)　　20%
再評価:　　有(再評価方法)レポート

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 教科書は使用しません。
参考書 オーウェル『カタロニア賛歌』(岩波文庫、1992 年) 小熊英二『社会を変えるには』(講談社現代新書、2012 年) 赤坂真理『愛と暴力の戦後とその後』(講談社現代新書、2014 年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。
連絡先 藤井　達夫 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 藤井　達夫 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000632		
科目名	主題別選択Ⅰ（英語で学ぶヒトの脳と言語）		
担当教員	時本　楠緒子		
開講時期	前期	対象年次	2

曜日･時間:　木曜日･2 時限　(10:05-10:55)
対象学科:医･歯学科
募集人数:25 人
単位:前半 7 回と後半 7 回、合計 2 科目を履修して 1 単位取得
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する。
別表 1-7) 人間の心への理解を深める。
別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。
別表 2-4) 自己問題提起･解決型の学習方法を身につける。

授業の目的、概要等

地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を学びます。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。講義は英語で記述された配布資料に基づき、日本語と英語で行います。

授業の到達目標(SBOs)

(1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。
(2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。
(3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本　楠緒子
2	6/16	10:05-10:55	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本　楠緒子
3	6/23	10:05-10:55	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本　楠緒子
4	6/30	10:05-10:55	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本　楠緒子
5	7/7	10:05-10:55	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本　楠緒子
6	7/14	10:05-10:55	医学科演	時本　楠緒子

			習室5ー3, 医学科演習室5ー4	
7	7/21	10:05-10:55	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本 楠緒子

授業方法

講義形式で行う他、学生が発表する機会もあります。

授業内容

6月9日 Overview of the human brain
6月16日 Language circuits in the brain
6月23日 Critical period for language learning
6月30日 Second-language and sign language
7月7日 Animal behavior similar to language
7月14日 Comparison between bird song and human language
7月21日 Comparison between behavior of primates and human language

成績評価の方法

評価 : 試験 0 % ・ レポート(英語) 80 % ・ その他(授業への参加度) 20 %
再評価: 有(レポート提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

毎回資料を配布します。予習は特に必要ありませんが、毎回授業への質問やコメントを書いていただきます。

教科書

指定なし

参考書

Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2013 McGraw-Hill

履修上の注意事項

レポート提出の資格:原則3分の2以上の出席

時間割番号	000701		
科目名	主題別選択Ⅱ（語り（ナラティブ）の構造）		
担当教員	土佐　朋子		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜 2 限
・対象学科：医学科・歯学科
・受講資格：「言語と人間」「時間と人間」の主題であること
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

授業の目的、概要等

人間は、自らを存在させるために「語り」を必要とする生き物である。

本授業の目的は、人間の「語り」の構造について、基本的な考え方を学び、理解を深めることである。到達目標は、3 年次のセミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」という観点から養われることである。

古典から近現代までの複数の文学作品を用いながら、それぞれの語りの特徴を指摘し、そのことがどのような効果を発揮し得るかを考察する。

授業の到達目標(SBOs)

①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。
②3 年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子

授業方法

講義を中心とする。

授業内容

語りが成立するために必要な要素の確認から始め、それらがどのように機能して、どのような構造を作っているかを、作品を通して具体的に考察する。とりあげる作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、江戸川乱歩『人間椅子』、夏目漱石『こころ』、森鷗外『舞姫』、芥川龍之介『藪の中』などを予定している。

成績評価の方法

評価：試験 0％・レポート 80％
　　その他 20％（授業への参加度・授業中の小レポート等）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示 作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。
試験の受験資格 レポート提出には、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。
教科書 プリントを使用する。
参考書 『対象喪失 ：悲しむということ』／小此木 啓吾／著,:中央公論新社, 1979 『時間と自我』／大森荘蔵:青土社, 1992 『ナラティブ・メディスン ：物語能力が医療を変える』／Rita Charon [著],斎藤清二, 岸本寛史, 宮田靖志, 山本和利 訳,:医学書院, 2011 『ナラティブ・ベイスト・メディスン ：臨床における物語りと対話』／トリシャ・グリーンハル 編集,ブライアン・ハーウィッツ 編集,斎藤 清二 監訳,山本 和利 監訳,岸本 寛史 監訳,:金剛出版 『臨床とことば』／河合隼雄, 鷲田清一 著,:朝日新聞出版, 2010 『ナラティヴと医療』／江口重幸, 斎藤清二, 野村直樹 編,:金剛出版, 2006 『ほんとうの構造主義 ：言語・権力・主体』／出口顯 著,:NHK 出版, 2013
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先 土佐 朋子:tosa.has@tmdac.jp
オフィスアワー 土佐 朋子:毎週水曜 PM 12:30-PM 14:50 管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000702		
科目名	主題別選択Ⅱ（いのちと医療の歴史学）		
担当教員	田中　智彦		
開講時期	前期	対象年次	3

◇ 曜日・時間：木曜２限

◇ 対象学科：医学科・歯学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表１-３）人間の歴史的営みを理解する

別表１-５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表１-10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

私たちの「ものの見方」は、私たちが思っている以上に、私たちの言語・文化・歴史に影響され、制約されています。「いのち」や「医学・医療」についても例外ではありません。それどころか、この二つのうちにこそ私たち現代人の「ものの見方」が典型的に映し出されている、と言っても過言ではないほどです。しかし他方で、そうした「ものの見方」はふだん「当たり前」のこととして通用しているので、そこからは何がどのように見えているのか、そしてまた見えていないのかは、なかなか問われることがありません。

あらためてそのような問いを立て、それを歴史の観点から考察してゆくのがこの授業です。他の人びとは別にしても、「医学・医療」を志し、「いのち」に関わることを一生の仕事にしようとするのなら、せめて一度なりともそのような問いに取り組んでみる必要があるでしょう。この授業ではそうした機会を提供するべく、「授業詳細日程」に記すような論点について検討してゆきます。

授業の到達目標(SBOs)

（1）上記の試みをつうじて、近代以降の「いのち」へのまなざしの変遷とその問題点とについて理解を深めること。

（2）それとともに、近代以降の医学・医療の展開における問題点をも省みることのできる視点を得ること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55	医学科演習室５―３，医学科演習室５―４	田中　智彦
2	4/14	10:05-10:55	医学科演習室５―３，医学科演習室５―４	田中　智彦
3	4/21	10:05-10:55	医学科演習室５―３，医学科演習室５―４	田中　智彦
4	4/28	10:05-10:55	医学科演習室５―３，医学科演習室５―４	田中　智彦
5	5/12	10:05-10:55	医学科演習室５―３，医学科演習室５―４	田中　智彦
6	5/19	10:05-10:55	医学科演	田中　智彦

			習室5－3，医学科演習室5－4	
7	5/26	10:05-10:55	医学科演習室5－3，医学科演習室5－4	田中　智彦
8	6/2	10:05-10:55	医学科演習室5－3，医学科演習室5－4	田中　智彦

授業方法

授業は講義形式で行う予定です。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

「授業詳細日程」にある通り

成績評価の方法

◇評価：レポート　80％

その他　20％（出席状況、コメントシートへの回答など）

◇再評価：有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。

試験の受験資格

◇ レポートの提出資格：原則7回中5回以上の出席

教科書

教科書はありません。毎回レジュメを配布します。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介します。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

連絡先

田中　智彦 tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中　智彦 毎週月曜日　12：30～13：30　管理研究棟2階　哲学研究室

時間割番号	000734		
科目名	主題別選択Ⅱ（ディアスポラ（離散社会）の言語と文学）		
担当教員	髙尾　千津子		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間：木曜２限
対象学科：医・歯学科
受講資格：「文化と人間「言語と人間」選択者
募集人数：20 人

授業の目的、概要等

ディアスポラとは本国を持たない、あるいは本国から遠く離れた離散社会を意味する。ユーラシアの西の「半島」であるヨーロッパには、様々な独自の言語を持つ民族的、宗教的マイノリティが存在した。しばしば変わる国境線、人口の移動は、さらに新たなディアスポラを生み、それは社会の緊張要因ともなったが、同時に多様な社会と文化、文学を生み出した。授業では、ヨーロッパの少数派言語と多言語社会の歴史と現状を紹介し、こうしたディアスポラの言語のもつ意味を考える。

授業の到達目標(SBOs)

人類の言語の多様性が持つ意味を知る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室11	髙尾　千津子

授業方法

講義形式

授業内容

1ディアスポラの言語
2ヨーロッパと多言語主義
3少数言語と「言語戦争」
4「ジャルゴン」　蔑まれた言語
5「死語」を復活させる

6共通言語の試み
7エスペラント語を学ぶ

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20%

再評価: 有(再評価方法)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。

教科書

授業でプリントを配布する。

参考書

田中克彦『エスペラント―異端の言語』岩波新書、2007 年。

ショーレム・アレイヘム、西成彦訳『牛乳屋テヴィエ』岩波文庫。

ロバート・セントジョン、島野信宏訳『ヘブライ語の父ベン・イェフダー』ミルトス、2000 年。

西成彦『イディッシュ 移動文学論』作品社、1995 年。

履修上の注意事項

3 分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

連絡先

高尾 千津子:takao.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高尾 千津子:毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000703		
科目名	主題別選択Ⅱ（スポーツと心）		
担当教員	水野　哲也		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間：木曜
対象学科：医学科・歯学科　2 年
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1ー7）人間の心への理解を深める
　別表1ー8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

授業の目的、概要等

本授業では、競技スポーツにおける心をテーマにいくつかの視点からこれまでに提示された理論を紹介し、スポーツにおける心の問題を考える。また、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツと心」について発表し、その中身について共に考えたい。

授業の到達目標(SBOs)

本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと心」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に 2000 字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
2	4/14	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
3	4/21	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
4	4/28	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
5	5/12	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
6	5/19	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
7	5/26	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也
8	6/2	10:05-10:55	共用セミナー室6	水野　哲也

授業方法

授業は講義形式で実施するが、その中で実習形式の内容がいくつかある。また後半は、その学習効果を上げるために発表、討議型の授業を行う。

授業内容

「スポーツと心の関係性」、「リラックスと集中」、「メンタルタフネス」、「動機づけ」、「ピークパフォーマス」について概説する。その後、受講者の発表を行い、意見交換する。

成績評価の方法

評価：出席 30％、各授業時の参加度 20％、レポート 50％
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体性をもって主題（自ら選択したテーマ）について考える積極的な態度や姿勢が求められる。発表の内容をしっかり準備してください。

試験の受験資格

本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。
参考書 最新スポーツ心理学 ：その軌跡と展望／日本スポーツ心理学会 編,:大修館書店, 2004 実践メンタルタフネス／ジム・レーヤー 著,ジェフリー・ミグドゥ 著,小林 信也 訳,:TBSブクタニカ
他科目との関連 1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。
連絡先 水野 哲也mizuno.has@tmdac.jp
オフィスアワー 水野 哲也毎週金曜日 AM.11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

時間割番号	000704		
科目名	主題別選択Ⅱ（バルト『エッフェル塔』を読む）		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表1―1）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表1―3）人間の歴史的営みを理解する
　別表1―4）異なる空間の文化を理解する

主な講義場所

湯島

授業の目的、概要等

フランスの批評家、ロラン・バルトの『エッフェル塔』を講読します。日本でも、2012 年にスカイツリーが完成し、これを機に、東京タワーも含めて、人々がこうした建築物に抱く思いが様々なメディアで特集されました。こうした建築物は時代を象徴し、人々の思いが集約される場となっています。エッフェル塔は今では代表的なパリの観光名所ですが、19世紀に建築された当時は醜い鉄の塔としてさんざんな悪評を蒙りました。バルトはこのエッフェル塔という「記号」が持つ意味を、パリの都市構造とも関連づけながら重層的に分析していきます。授業では、バルト独自の表現やものの見方を味わい、具体例を通して、バルトの分析手法や考え方の特徴を理解することを目的とします。

授業の到達目標(SBOs)

1）バルト独特の分析方法やレトリックを味わう。
2）エッフェル塔を通じてフランス文化の一端を知る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室2	中島　ひかる

授業方法

講義形式で、最初に概要を説明した後、1回に文庫本にして約20ページを講読・解説します。
ただし、バルトの思考に触れて、各自の自分なりのコメントを求めます。

授業内容

バルトの分析に沿って、エッフェル塔を通じて、人間の視線の作用、塔という小空間の意味、鉄という素材の意味、塔の社会的・歴史的象徴性等を見ていきます。構造主義、複製技術、技術と芸術、パリの都市構造、19 世紀等、関連したトピックスを扱います。

おおよそ以下のような順序で進めます。
1 回目：パリとエッフェル塔（概要説明）
2 回目：視線と構造主義

3 回目：パリの都市構造
4 回目：小世界（閉じた世界と開かれた世界）
5 回目：石と鉄（近代産業）
6 回目：社会的表徴としてのエッフェル塔(19 世紀)
7 回目：エッフェル塔の象徴性
8 回目：意見交換とまとめ

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）0%・レポート 90%・
その他 10%（出席・授業への参加度）
再評価：有 （再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

初回の導入以外は、毎回、授業で扱う範囲については内容に目を通し、授業中の議論に参加できるよう準備して下さい。講義形式で内容を解説しますが、それについて自分なりの見解をもてるようにして下さい。

試験の受験資格

2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

エッフェル塔／ロラン・バルト 著,宗左近, 諸田和治 訳,:筑摩書房, 1997

参考書

ロラン・バルト『ロラン・バルト著作集』 全 10 巻 みすず書房

履修上の注意事項

教室に出欠管理システムの端末がないと思われますので、教員が毎回出欠を取ります。 教科書は必ず購入して下さい。購入せず出席した場合は欠席と見なします。

連絡先

中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中島 ひかる:毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000705		
科目名	主題別選択Ⅱ（ドイツとヨーロッパの社会）		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	3

・前期前半
・曜日・時間：木曜２限
・対象学科：医学科・歯学科
・受講資格：ドイツ語ａｂｃｄ４単位を持っていること
・募集人数：２年生とあわせて20人
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－２）社会制度や仕組みについての基本を理解する
　別表１－３）人間の歴史的営みを理解する
　別表１－４）異なる空間の文化を理解する
　別表３－４）外国文化を理解する
　別表３－５）国際情勢を理解する

主な講義場所

湯島キャンパス
３号棟4階演習室４－１１，１２

授業の目的、概要等

ドイツ語で書かれた教科書を読みながら、ドイツとヨーロッパの社会について学んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の４単位を持っていない方は受講できません！
ドイツ政府やEUのホームページも見ていきます。時間があれば、DVDも見ます。毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。

授業の到達目標(SBOs)

ドイツの地理と社会について教科書で読んでから、ドイツ政府とEUについても学び、
「ドイツ再統一」に至った経緯について学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
2	4/14	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
3	4/21	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
4	4/28	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ

5	5/12	1005-1055	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ
6	5/19	1005-1055	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ
7	5/26	1005-1055	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ
8	6/2	1005-1055	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ

授業方法

セミナー形式;毎回教科書を読んで訳してから、ドイツ政府や EU のホームページの内容を読みます。時間があればドキュメンタリー映像も見ます。

授業内容

初回:オリエンテーション、第1課 (1ページ)
第2回～第3回:第2課と第3課 (3ページと6ページ)
第4回～第6回:第4課(9～13ページ)を読みながら、ドイツ再統一に至った経緯を考えます。インターネット、DVD も使用する予定。
第7回:理解の度合いを調べるため、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。
試験が50パーセント。
再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時に使った文法と会話の教科書を復習しておくとよいです。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。
・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

教科書

ドイツとドイツ語を話す国々に／Heinz Griesbach [著],松本嘉久 編,:朝日出版社, 1994
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。
それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008
アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 4 月 7 日は休講となりますので、第 1 回目は 4 月 14 日となります。注意してください。 毎回出席を取ります。 毎回教科書と電子辞書か独和辞典を持ってきてください。
連絡先 シンチンガー エミ schinzinger.has@tmd.ac.jp
オフィスアワー シンチンガー エミ 毎週月曜日 16:30 ー18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000810		
科目名	主題別選択Ⅱ（現代の日中関係）		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	前期	対象年次	3

授業の目的、概要等

最近の雰囲気からは想像し難いかもしれませんが、今から約 40 ほど前には「蜜月」とも呼ばれる日中友好の時代がありました。この授業では、1972 年の「日中国交正常化」から今日に至るまでの日中関係が、どのような歩みをたどってきたのかを学んでもらいます。今後の日中関係について考えるきっかけとすると同時に、世の中はどのように変化していくのかという「時間感覚」も体感してもらえれば幸いです。

授業の到達目標(SBOs)

『日中関係史 1972-2012』全 3 巻（2012 年、東京大学出版会）を参考に、日中間の社会・文化・政治・経済にまつわる諸問題について理解を深めることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	大学院講義室3	家永　真幸
2	4/14	1005-1055	大学院講義室3	家永　真幸
3	4/21	1005-1055	大学院講義室3	家永　真幸
4	4/28	1005-1055	大学院講義室3	家永　真幸
5	5/12	1005-1055	大学院講義室3	家永　真幸
6	5/19	1005-1055	大学院講義室3	家永　真幸
7	5/26	1005-1055	大学院講義室3	家永　真幸
8	6/2	1005-1055	大学院講義室3	家永　真幸

授業方法

講義形式で行いますが、毎回短いグループディスカッションの時間を設け、協力してコメントシートを書いていただく予定です。そこで出された質問や興味深い意見は翌週の授業冒頭で紹介し、教員からの回答を行います。みなさんの積極的な参加を期待します。最終回は総合討論の日とし、みなさんのコメントの中からこちらでテーマを選定し、議論する予定です。

教員が新入生箱根オリエンテーションの引率で不在のため、第 1 回は休講です。

授業内容

初回時に受講者の顔ぶれを見て調整しますが、今のところ下記トピックを扱うことを考えています。

第 1 回 （教員が新入生箱根オリエンテーション引率のため休講）
第 2 回 ガイダンス、日中国交正常化（1972 年）
第 3 回 尖閣問題概論
第 4 回 対中ＯＤＡ の開始（1979 年）
第 5 回 六・四天安門事件（1989 年）
第 6 回 アジアカップ騒動（2004 年）
第 7 回 池袋チャイナタウン構想（2008 年）
第 8 回 総合討論

成績評価の方法

評価：試験０％・レポート８０％

その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況） 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 毎回プリントを配布します。予習は特に必要ありませんが、授業で得た知識を自分なりに整理し、レポートに活かすことを要求します。
参考書 日中関係史1972-2012：Ⅲ社会・文化／園田茂人編：東京大学出版会，2012 日中関係史1972-2012：Ⅰ政治／高原明生編：東京大学出版会，2012 日中関係史1972-2012：Ⅱ経済／服部健治・丸川知雄編：東京大学出版会，2012
連絡先 家永　真幸：enagas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 家永　真幸：毎週月・水曜日　PM12:20-PM13:10　管理研究棟3階309室

時間割番号	000707		
科目名	主題別選択Ⅱ（社会の中の数学）		
担当教員	清田　正夫		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時限：木曜日２時限
対象学科：医学科、歯学科
受講資格：
募集人数：30人以下
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2-4）

授業の目的、概要等

数学と日々の生活は無縁のものと考える人は多いが、身の回りにある道具や装置に数学の理論が応用されている例は無数にある。ここでは、ＣＤ の信頼性を保証する誤り訂正符号、機密事項の伝達に用いられる鍵公開暗号、ＣＴ スキャンの基本原理であるラドン変換を取り上げ、それらの数学的基礎を解説する。主として講義形式で行なうが、項目によっては学生に発表させることもある。

授業の到達目標(SBOs)

数学理論が社会のなかでどのように応用されているかを、実例を通して理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	医学科講義室１	清田　正夫
2	4/14	1005-1055	医学科講義室１	清田　正夫
3	4/21	1005-1055	医学科講義室１	清田　正夫
4	4/28	1005-1055	医学科講義室１	清田　正夫
5	5/12	1005-1055	医学科講義室１	清田　正夫
6	5/19	1005-1055	医学科講義室１	清田　正夫
7	5/26	1005-1055	医学科講義室１	清田　正夫
8	6/2	1005-1055	医学科講義室１	清田　正夫

授業方法

主として講義を行なう。

授業内容

第1回ー第2回　誤り訂正符号とハミング符号
第3回ー第4回　鍵公開暗号とＲＳＡ 暗号
第5回ー第7回　フーリエ変換とラドン変換

成績評価の方法

評価：試験0%・レポート80%・その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

準備学習などについての具体的な指示

講義内容の詳細をＷebC lass に載せているので、復習すること。

教科書

プリントを配付する。 授業資料はwebClassに掲載してある。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。
連絡先 清田　正夫kiyota.has@tmd.ac.jp
オフィスアワー 清田　正夫毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000736		
科目名	主題別選択Ⅱ（医療と物理の関係性）		
担当教員	檜枝　光憲		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間：木曜2限
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1）別表2－2）別表2－4）
別表4－2）

授業の目的、概要等

生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きは力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。本授業は参加者のゼミ形式で進め、自らの発表を通して医療と物理の密接な関係性について理解を深めていきます。

授業の到達目標(SBOs)

医療と物理の関係性について具体例がイメージできるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
2	4/14	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
3	4/21	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
4	4/28	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
5	5/12	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
6	5/19	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
7	5/26	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲
8	6/2	10:05-10:55	共用セミナー室4	檜枝　光憲

授業方法

ゼミ形式で行います。
初回に分担を決め、順番に発表を行ってもらいます。

授業内容

第1回　イントロダクション
第2回　力学と人体
第3回　流体と人体
第4回　熱と体温
第5回　音と光と人体
第6回　電気と磁気の世界
第7回　原子と放射線
第8回　総括

成績評価の方法

評価　：　その他　100　％
（発表点、レポート点（発表資料）、平常点（出席、議論等への参加度））
再評価：　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示
発表準備のために教科書以外の関連図書を探して読むこと。
参考書
医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,: 東京教学社, 2013
履修上の注意事項
原則 2/3 以上の出席が必要。　出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。
連絡先
檜枝 光憲hiedaｌas@tmｄac.jp
オフィスアワー
檜枝 光憲毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000709		
科目名	主題別選択Ⅱ（物理数学演習）		
担当教員	越野　和樹		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜2限
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表2－1）
　別表4－2）

授業の目的、概要等

私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。

授業の到達目標(SBOs)

問題演習をとおして，数理科学的能力を高めること

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室5	越野　和樹

授業方法

各講義の前半に基礎知識の確認を行い，後半を試験とする。

授業内容

・物理数学演習
・電磁気学演習
・力学演習

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）0%・レポート0%・その他（各講義での小テスト）100%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

特別な準備は必要ないが，講義前半の基礎知識確認に集中すること.

参考書

「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか　共立出版

履修上の注意事項

解析学・線形代数の双方に十分な技術を有することを前提としている.

連絡先
越野　和樹:kuzak.las@tmdac.jp
オフィスアワー
越野　和樹:毎週月曜日 12:00--13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000706		
科目名	主題別選択Ⅱ（科学と疑似科学の境界）		
担当教員	奈良　雅之		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する
1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる
4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

巷には「プラズマクラスターイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学（疑似科学）に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。

授業の到達目標(SBOs)

授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室1	奈良　雅之

授業方法

講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。

授業内容

社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。

成績評価の方法

評価：試験0%・レポート80%
　　その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：配付資料、関連資料に目を通してください。

復習：興味のある項目について、文献を調べてください。
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席 （レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。）
教科書 なぜ疑似科学が社会を動かすか／石川幹人：PHP 新書，2016
参考書 嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著，：文藝春秋，2014 メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著，：名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫，2010 科学と人間の不協和音／池内了 [著]，：角川書店，2012 活性酸素／高柳 輝夫 編，大坂 武男 編，大坂 武男 [ほか]共著，日本化学会 監修，：丸善 博士漂流時代 ：「余った博士」はどうなるか？／榎木英介 [著]，：ディスカヴァー・トゥエンティワン，2010 水素水とサビない身体／太田成男 著，：小学館，2013 疑似科学入門／池内 了 著，：岩波書店，2008
連絡先 nara.has@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM 0:00-PM 2:00，毎週金曜日 PM 0:00-PM 1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000711		
科目名	主題別選択Ⅱ（食品の科学）		
担当教員	大塚　淳		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間：木曜日（前半 8 回）・2 時限
対象学科：医学科・歯学科
募集人数：30 名（主題別選択Ⅰ（食品の科学）と合わせて）
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表1－3）人間の歴史的営みを理解する
　別表2－1）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

授業の目的、概要等

食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性（生体調節機能）」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。

授業の到達目標(SBOs)

食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55	大学院講義室4	大塚　淳
2	4/14	10:05-10:55	大学院講義室4	大塚　淳
3	4/21	10:05-10:55	大学院講義室4	大塚　淳
4	4/28	10:05-10:55	大学院講義室4	大塚　淳
5	5/12	10:05-10:55	大学院講義室4	大塚　淳
6	5/19	10:05-10:55	大学院講義室4	大塚　淳
7	5/26	10:05-10:55	大学院講義室4	大塚　淳
8	6/2	10:05-10:55	大学院講義室4	大塚　淳

授業方法

講義による

授業内容

食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。

成績評価の方法

評価　：　試験　0%　・　レポート　80%　・　その他（授業への参加度）　20%
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で扱った事項について参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。

試験の受験資格

2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

参考書
食品の科学／上野川修一, 田之倉優 編,: 東京化学同人, 2005
食品学 ：食品成分と機能性／久保田紀久枝, 森光康次郎 編,: 東京化学同人, 2011
連絡先
大塚 淳:ohtsuka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
大塚 淳:毎週金曜日 PM 12:00-PM 1:00 ヒポクラテスホール4階

時間割番号	000712		
科目名	主題別選択Ⅱ（生物の中の糖）		
担当教員	勝又　敏行		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間：木曜日　2限

対象学科：医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表1―10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

別表2―1）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

授業の目的、概要等

糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。

授業の到達目標(SBOs)

糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	勝又　敏行
2	4/14	1005-1055	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	勝又　敏行
3	4/21	1005-1055	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	勝又　敏行
4	4/28	1005-1055	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	勝又　敏行
5	5/12	1005-1055	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	勝又　敏行
6	5/19	1005-1055	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	勝又　敏行
7	5/26	1005-1055	医学科演習室5―1, 医学	勝又　敏行

			科演習室5―2	
8	6/2	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	勝又 敏行

授業方法

講義形式による

授業内容

1. 糖とは何か
2. 糖の種類、および構造、性質
3. 糖の分析法
4. 植物における糖
5. 人の中の糖1
6. 人の中の糖2
7. 糖と疾病

成績評価の方法

評価:試験 0%、レポート 100%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ａｊｉｔ Ｖａｒｋｉ[ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳,: 丸善, 2010

連絡先

勝又 敏行katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス2 階化学実験準備室

時間割番号	000713		
科目名	主題別選択Ⅱ（宇宙と生命）		
担当教員	服部　淳彦		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。
　１－１０）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。

授業の目的、概要等

日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無（微小）重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物（ヒトも含めて）に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。

授業の到達目標(SBOs)

生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室9	服部　淳彦

授業方法

セミナー形式による（各自に発表してもらう）。したがって、募集人数は15名をMAXとする。

授業内容

宇宙環境と生物（概論）
無（微小）重力と生物（1）
無（微小）重力と生物（2）
宇宙放射線と生物（1）
宇宙放射線と生物（2）
宇宙医学（1）
宇宙医学（2）

成績評価の方法

評価：その他　100％
平常点（参加度）と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示
主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。
連絡先
服部　淳彦ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
服部　淳彦毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ4F　教員研究室(A2)

時間割番号	000714		
科目名	主題別選択Ⅱ（生物間のコミュニケーション）		
担当教員	伊藤　正則		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1ー1）言語を通した人間の創造的営みを理解する。
　別表2ー4）自己問題提起・解決型の学習法を身につける。

授業の目的、概要等

この授業の目的は1）～4）である。
1）生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。
2）この分野における研究の現状を理解する。
3）基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。
4）研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

1）生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状説明することができる。
2）基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。
3）研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
2	4/14	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
3	4/21	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
4	4/28	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
5	5/12	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
6	5/19	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
7	5/26	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
8	6/2	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則

授業方法

講義形式で行う。履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。

授業内容

ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて。発想と目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察の論理展開を重視して説明する。

成績評価の方法

評価：試験 0%・レポート 80%
　その他（授業への参加度・授業中の回答状況）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。
試験の受験資格 2/3以上出席したものにレポートの提出の資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 脳とホルモンの行動学／近藤　保彦：西村書店，2012 脳・神経科学入門講座 改訂版 前・後編／渡辺　雅彦：羊土社，2008 行動の神経生物学／GKH Zupanc：シュプリンガー・ジャパン，2007 化学受容の科学：匂い・味・フェロモン 分子から行動まで／東原　和成：化学同人，2012
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 伊藤　正則：itohm.tas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤　正則：毎週月曜日 AM 10:00-PM 2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000715		
科目名	主題別選択Ⅱ（医療の社会学）		
担当教員	藤井　達夫		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間:　木曜　2 限
対象学科:　医学科歯学科
募集人数:　25 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー）:1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-8)、1-9)、1-10)、2-4)

授業の目的、概要等

この授業では、医療テクノロジーの発展の中で、医療が理想とした社会像や医療が実際に可能にした社会の仕組みを取り上げ、批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18 世紀から 20 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との根深く暗い関係を優生学の観点から議論します。さらに、20 世紀後半に登場する新しい優生学の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。

授業の到達目標(SBOs)

(1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する基礎的な知見について理解を深めることができる。
(2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
2	4/14	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
3	4/21	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
4	4/28	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
5	5/12	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
6	5/19	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
7	5/26	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫
8	6/2	1005-1055	共用セミナー室10	藤井　達夫

授業方法

講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。

授業内容

第 1 回　医療が描く理想社会
第 2 回　医療と優生学
第 3 回　健康優良者からなる社会――ナチス・ドイツの例
第 4 回　健康優良者からなる社会――日本の例

第 5 回　現代の優生学とそのユートピア 第 6 回　生命が廃棄される社会の医療 第 7 回　まとめ ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。
成績評価の方法 評価 ： レポート 80％ ・ その他(授業での取り組み)　　20％ 再評価:　有(再評価方法)レポート
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 教科書は使用しません。
参考書 ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974 年) カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008 年) ジグムント・バウマン『近代とホロコースト』(大月書店、2006 年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。
連絡先 藤井　達夫教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 藤井　達夫教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000716		
科目名	主題別選択Ⅱ（ヒトの脳と言語）		
担当教員	時本　楠緒子		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間:　木曜日・2 時限　(10:05-10:55)
対象学科:医・歯学科
募集人数:25 人
単位:前半 7 回と後半 7 回、合計 2 科目を履修して 1 単位取得
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する。 別表 1-7) 人間の心への理解を深める。 別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。 別表 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

授業の目的、概要等

なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。授業の前半では、言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を解説します。後半は、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。

授業の到達目標(SBOs)

(1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。
(2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。
(3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55	共用セミナー室12	時本　楠緒子
2	4/14	10:05-10:55	共用セミナー室12	時本　楠緒子
3	4/21	10:05-10:55	共用セミナー室12	時本　楠緒子
4	4/28	10:05-10:55	共用セミナー室12	時本　楠緒子
5	5/12	10:05-10:55	共用セミナー室12	時本　楠緒子
6	5/19	10:05-10:55	共用セミナー室12	時本　楠緒子
7	5/26	10:05-10:55	共用セミナー室12	時本　楠緒子
8	6/2	10:05-10:55	共用セミナー室12	時本　楠緒子

授業方法

講義形式と授業内での質疑応答

授業内容

4 月 7 日　ヒトの脳構造(1)

4 月 14 日　ヒトの脳構造(2)
4 月 21 日　言語獲得の臨界期
4 月 28 日　母語、外国語、手話
5 月 12 日　動物の音声コミュニケーション(1)
5 月 19 日　動物の音声コミュニケーション(2)
5 月 26 日　言語の生物学的起源
6 月 2 日　総括

成績評価の方法

評価 ： 試験　0 ％ ・ レポート　80 ％ ・ その他(授業への参加度)　20 ％
再評価:　有(レポート提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:配布資料がある場合には、目を通しておいてください。復習:興味のあるテーマを見つけたら、関連する文献を探して読んでください。

教科書

指定なし

参考書

(1) 言語と思考を生む脳/入來篤史 編 東京大学出版会 2008 (2) ヒトはいかにして人となったのか―言語と脳の共進化/テレンス・W.ディーコン著 新曜社 1999 (3) イラストレクチャー 認知神経科学 心理学と脳科学が読み解くこころの仕組み/村上郁也 オーム社 2011

履修上の注意事項

レポート提出の資格:原則 3 分の 2 以上の出席

時間割番号	000717		
科目名	主題別選択Ⅱ（語り（ナラティブ）と時間）		
担当教員	土佐　朋子		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜 2 限
・対象学科：医学科・歯学科
・受講資格：「言語と人間」「時間と人間」の主題であること
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

授業の目的、概要等

人間は、自らを存在させるために「語り」を必要とする生き物である。

本授業の目的は、人間の「語り」の構造について、基本的な考え方を学び、理解を深めることである。到達目標は、3 年次のセミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」という観点から養われることである。

古典から近現代までの複数の文学作品を用いながら、それぞれの語りの特徴を指摘し、そのことがどのような効果を発揮し得るかを考察する。

授業の到達目標(SBOs)

①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。
②3 年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室7	土佐　朋子

授業方法

講義を中心とする。

授業内容

語りが成立するために必要な要素の確認から始め、それらがどのように機能して、どのような構造を作っているかを、作品を通して具体的に考察する。とりあげる作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、江戸川乱歩『人間椅子』、夏目漱石『こころ』、森鷗外『舞姫』、芥川龍之介『藪の中』などを予定している。

成績評価の方法

評価：試験 0％・レポート 80％
　　その他 20％（授業への参加度・授業中の小レポート等）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。

試験の受験資格

レポート提出には、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。

教科書

プリントを使用する。

参考書

『対象喪失 ：悲しむということ』／小此木 啓吾／著,:中央公論新社, 1979

『時間と自我』／大森荘蔵:青土社, 1992

『ナラティブ・メディスン ：物語能力が医療を変える』／Rita Charon [著],斎藤清二, 岸本寛史, 宮田靖志, 山本和利 訳,:医学書院, 2011

『ナラティブ・ベイスト・メディスン ：臨床における物語りと対話』／トリシャ・グリーンハル 編集,ブライアン・ハーウィッツ 編集,斎藤 清二 監訳,山本 和利 監訳,岸本 寛史 監訳,:金剛出版

『臨床とことば』／河合隼雄, 鷲田清一 著,:朝日新聞出版, 2010

『ナラティヴと医療』／江口重幸, 斎藤清二, 野村直樹 編,:金剛出版, 2006

『ほんとうの構造主義 ：言語・権力・主体』／出口顯 著,:NHK 出版, 2013

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先

土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土佐 朋子:毎週水曜 PM 12:30-PM 14:50

管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000718		
科目名	主題別選択Ⅱ（いのちと医療の倫理学）		
担当教員	田中　智彦		
開講時期	前期	対象年次	3

◇ 曜日・時間：木曜２限

◇ 対象学科：医学科・歯学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表１-５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表１-９）市民としての倫理観を養う

別表１-10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

倫理と法は別のものです。しかしながら今日、「生命倫理」として語られることがらの多くにあっては、この二つがしばしば混同されがちです。日本のある著名な哲学者をして、一般に「生命倫理」と呼ばれているものは「本来なら生命倫理ではなく、生命法とでも呼ぶべきもの」である、と言わしめるゆえんです。

では、そうした倫理と法の混同はなぜ生じるのでしょうか。どのような帰結をもたらすのでしょうか。また、名ばかりではない「生命倫理」、つまり「生命法」ではない「生命倫理」があるとしたら、そこでは「いのち」や「医学・医療」をめぐって何が語られ、そして私たちには何が求められることになるのでしょうか。

この授業では「授業詳細日程」に記すような論点を通して、それら一連の問いを考察してゆきます。それはまた、「生命倫理」の現在を批判的に読み解き、未来を模索する試みともなるでしょう。

授業の到達目標(SBOs)

（1）上記の試みをつうじて、「医学・医療において倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。

（2）「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	共用セミナー室９	田中　智彦
2	6/16	10:05-10:55	共用セミナー室９	田中　智彦
3	6/23	10:05-10:55	共用セミナー室９	田中　智彦
4	6/30	10:05-10:55	共用セミナー室９	田中　智彦
5	7/7	10:05-10:55	共用セミナー室９	田中　智彦
6	7/14	10:05-10:55	共用セミナー室９	田中　智彦
7	7/21	10:05-10:55	共用セミナー室９	田中　智彦

授業方法

授業は講義形式で行う予定です。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

「授業詳細日程」にある通り

成績評価の方法

◇評価：レポート　80％

その他　20％（出席状況、コメントシートへの回答など）

◇再評価：有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表２」による

準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ レポートの提出資格：原則 7 回中 5 回以上の出席
教科書 教科書はありません。毎回レジュメを配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中　智彦tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中　智彦毎週月曜日　12:30～13:30　管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000735		
科目名	主題別選択Ⅱ（ディアスポラの文化）		
担当教員	髙尾　千津子		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間：木曜２限
対象学科：　医・歯学科
受講資格：「文化と人間「言語と人間」選択者
募集人数：20 人

授業の目的、概要等

現代のグローバルな人間の移動は、世界各地に新しいディアスポラ文化を生み出している。国を追われた亡命者や難民だけでなく、国際的な労働力の移動という形での移民たちが、この新たな文化の担い手となっている。授業では、移民社会とその文化を紹介し、多文化社会が投げかける問題点を考える。

授業の到達目標(SBOs)

人の移動にともなう文化変容と異文化間の相互理解を重要性を考える。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	大学院講義室３	髙尾　千津子
2	6/16	10:05-10:55	大学院講義室３	髙尾　千津子
3	6/23	10:05-10:55	大学院講義室３	髙尾　千津子
4	6/30	10:05-10:55	大学院講義室３	髙尾　千津子
5	7/7	10:05-10:55	大学院講義室３	髙尾　千津子
6	7/14	10:05-10:55	大学院講義室３	髙尾　千津子
7	7/21	10:05-10:55	大学院講義室３	髙尾　千津子

授業方法

講義形式

授業内容

１ディアスポラの歴史
２古典的なディアスポラ　１
３古典的なディアスポラ　２
４現代のディアスポラ　１
５現代のディアスポラ　２
６アメリカの移民と文化
７ヨーロッパの移民と文化

成績評価の方法

評価　：　試験　0　％　・　レポート 80　　％　・　その他（授業への参加度　）　20％
再評価：　有（再評価方法）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表２」による

準備学習などについての具体的な指示

授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。

教科書

授業でプリントを配布する。

参考書
駒井洋編『ヨーロッパ・ロシア・アメリカのディアスポラ』明石書店、2009 年。 有賀夏紀『アメリカの歴史　テーマで読む多文化社会の夢と現実』有斐閣、2003 年。 綾部恒雄編『アメリカの民族　ルツボからサラダボウルへ』弘文堂、1992 年。 内藤正典『ヨーロッパとイスラーム――共生は可能か』岩波新書、2004 年。
履修上の注意事項
3 分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先
髙尾　千津子:takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
髙尾　千津子:毎週金曜日　12:30～13:30

時間割番号	000710		
科目名	主題別選択Ⅱ（スポーツと健康）		
担当教員	水野　哲也		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間：木曜
対象学科：医学科・歯学科　2 年
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1－4）異なる空間の文化を理解する
　別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

授業の目的、概要等

本授業では、生活の身近にある「スポーツ」また「健康」とは何か？、を原点に立ち返えって、今一度考えてみたい。授業では、私（水野）の考える「スポーツとは？」、「健康とは？」を述べるが、これは私論である。よって、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツ」また「健康」とは？ を発表し、その本質について共に考えたい。

授業の到達目標(SBOs)

本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと健康」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に 1600～2000 字のレポートをまとめることを具体的な到達目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室6	水野　哲也

授業方法

授業は講義形式で実施するが、後半はその学習効果を上げるために発表、討議型の授業を行う。

授業内容

「スポーツとは？」、「健康とは？」、そして「文化とは？」について考え、その後「スポーツは文化か？」、「健康づくりは文化か？」などについて事例やデータを基に水野の私論を述べる。その後、受講者の発表を行い、意見交換する。

成績評価の方法

評価：出席 30％、各授業時の参加度 20％、レポート 50％
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体性をもって主題（自ら選択したテーマ）について考える積極的な態度や姿勢が求められる。発表の内容をしっかり準備してください。

試験の受験資格

本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。

参考書

痛快みんなのスポーツ学／辻秀一 著,:集英社インターナショナル, 2001
他科目との関連 １年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野のＳ科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。
連絡先 水野 哲也mizuno.has@tmdac.jp
オフィスアワー 水野 哲也毎週金曜日 AM.11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2階

時間割番号	000720		
科目名	主題別選択Ⅱ（フランス詩を読む）		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表1―1）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表1―6）優れた芸術作品に触れて感性を高める
　別表1―7）人間の心への理解を深める

主な講義場所

湯島

授業の目的、概要等

ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。

詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解しがたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。

授業の到達目標(SBOs)

1）フランス詩のニュアンス・表現を味わう。
2）文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	中島　ひかる
2	6/16	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	中島　ひかる
3	6/23	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	中島　ひかる
4	6/30	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	中島　ひかる
5	7/7	10:05-10:55	医学科演習室5―1, 医学科演習室5―2	中島　ひかる

6	7/14	10:05-10:55	医学科演習室5ー1, 医学科演習室5ー2	中島 ひかる
7	7/21	10:05-10:55	医学科演習室5ー1, 医学科演習室5ー2	中島 ひかる

授業方法

講義形式によって、毎回、2、3篇の詩を講読します。

最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます。

授業内容

ロンサール、ラシーヌ、ボードレール、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。

おおよその予定は以下の通りですが、受講者の反応や希望によって取り上げる詩と順序は変更します。

1 回目:ジャック・プレヴェール

2 回目:ヴェルレーヌ等

3 回目:ロンサール、ラシーヌ等

4 回目:ボードレール、ランボー等

5 回目:マラルメ、アポリネール等

6 回目:ロマン派

7 回目:現代詩

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・

その他 20 %(授業への参加度)

再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。

試験の受験資格

2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

フランス名詩選/安藤元雄, 入沢康夫, 渋沢孝輔 編,:岩波書店, 2001

プリントを配付する

参考書

珊瑚集 :仏蘭西近代抒情詩選/永井 荷風 訳,:岩波書店

上田敏全訳詩集/山内 義雄・ 矢野峰人 編,:岩波書店

悪の華/ボードレール 著,鈴木信太郎 著,:集英社

ヴァレリー詩集/ヴァレリー/著,鈴木 信太郎/訳,:岩波書店, 1979

月下の一群 :訳詩集/堀口大學 訳,:岩波書店, 2013

ロンサール詩集/ピエール・ド・ロンサール/〔著〕,井上究一郎/訳,:岩波書店, 1989

ランボオ詩集/ランボオ [著],中原中也 訳,:岩波書店, 2013

地獄の季節/ランボー /作,小林秀雄/訳,:岩波書店, 2008

ヴェルレーヌ詩集/ヴェルレーヌ [著],堀口 大学 訳,:新潮社

アポリネール詩集/アポリネール/〔著〕,堀口大学/訳,:新潮社, 1985

履修上の注意事項
出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われますので、教員が出欠をとります。
連絡先
中島　ひかる nakashima.las@tmdac.jp
オフィスアワー
中島　ひかる 毎週月曜　16:30～18:00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000721		
科目名	主題別選択Ⅱ（ドイツとヨーロッパの現在）		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	3

・前期後半
・曜日・時間：木曜２限
・対象学科：医学科・歯学科
・受講資格：ドイツ語ａｂｃｄ４単位を持っていること
・募集人数：２年生とあわせて20人
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－３）人間の歴史的営みを理解する
　別表１－４）異なる空間の文化を理解する
　別表１－６）優れた芸術作品に触れて感性を高める
　別表１－７）人間の心への理解を深める
　別表３－４）外国文化を理解する

主な講義場所

湯島キャンパス
３号棟４階演習室４－１１，１２

授業の目的、概要等

ベルリンという特別な町について学ぶことによって、ドイツとヨーロッパの現在について考えていきます。具体的には、1986 年に初演されてから現在までベルリンで再演され続けている「Linie 1」という、ベルリンの地下鉄を題材にした音楽劇の中から、抜粋した箇所を読んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の４単位を持っていない方は受講できません！
毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。

授業の到達目標(SBOs)

ベルリンについて学んでから、現代の演劇作品から多くの抜粋箇所を読むことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
2	6/16	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
3	6/23	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
4	6/30	10:05-10:55	医学科演習室４－11，医学科演習室４－12	シンチンガー　エミ
5	7/7	10:05-10:55	医学科演	シンチンガー

			習室4ー11, 医学科演習室4ー12	エミ
6	7/14	10:05-10:55	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ
7	7/21	10:05-10:55	医学科演習室4ー11, 医学科演習室4ー12	シンチンガーエミ

授業方法

セミナー形式;初回はベルリンについてのオリエンテーションで、インターネットのページなど読みます。その次からは作品の一部を原文で読んで訳していきます。

授業内容

初回:ベルリンについてのオリエンテーション、プリント配布

第2回〜第6回:「Linie 1」より抜粋を読んでいきます。毎回予習が必要です。1年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。

第7回:到達したところまでの内容について、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。

試験が50パーセント。

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習するとよいです。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。

・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

教科書

第1回目にプリントを配布

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,: 三修社, 2008

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,: 同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

毎回出席を取ります。　毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。

連絡先

シンチンガー　エミschinzinger.has@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー　エミ:毎週月曜日16:30ー18:00　管理研究棟3階研究室

時間割番号	000811		
科目名	主題別選択Ⅱ（中国政治テクスト分析）		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	前期	対象年次	3

授業の目的、概要等

日本でも中国でも、政治・外交に関して政府が発表する声明の類は、さまざまな思惑が交錯した結果として、非常に微妙な言い回しになることがよくあります。この授業では、中国や東アジア国際関係にまつわる短めの政治文書や新聞記事などを、細かな言葉遣いの背景まで留意しながら読み解きます。

当初は中国語既修者を想定して開講しましたが、前年は未習者の履修希望も多かったため、日中関係や米中関係など日本語や英語で読める外交文書や報道の比重を増やしました。

授業の到達目標(SBOs)

近年の中国政治や東アジア国際関係に関する中国語、日本語、英語で書かれた文書の読解を通じ、それら文書の意義や歴史的背景について理解し、自分の言葉で説明できるようになることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
2	6/16	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
3	6/23	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
4	6/30	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
5	7/7	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
6	7/14	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸
7	7/21	10:05-10:55	共用セミナー室2	家永　真幸

授業方法

毎回取り扱うテキストを 1 つ指定・配布するので、事前に読んできていただき、授業時には必ず何か発言してもらいます。受講人数と顔ぶれを見て初回時に調整しますが、1 人 1 回報告も担当してもらう予定です。中国語未履修者も受講して構いません。

授業内容

初回時に受講者と相談して決めますが、今のところ下記トピックを扱うことを考えています。

第 1 回　ガイダンス、担当決め、序盤用テキスト配布
第 2 回　中華人民共和国国務院新聞弁公室≪釣魚島是中国的固有領土≫（2012 年 9 月）
　　日本外務省「尖閣諸島についての基本見解」（2013 年 5 月）「日中共同声明」（1972 年 9 月）
第 3 回　カイロ宣言（1943 年 11 月 27 日）
　　ポツダム宣言（1945 年 7 月 26 日）
サンフランシスコ講和条約（1951 年 9 月 8 日調印）
沖縄返還協定（1971 年 6 月 17 日調印）
第 4 回　日華平和条約（1952 年 4 月 28 日署名）
　　日中共同声明（1972 年 9 月 29 日）
米中「上海コミュニケ」（1972 年 2 月 28 日）
第 5 回　直近の中国報道より
第 6 回　台湾の蔡英文総統就任演説（2016 年 5 月 20 日発表見込）
第 7 回　総合討論

成績評価の方法 評価：試験0%・レポート80% 　　その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況） 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 各回の課題テキストは事前に指定するので、授業当日までに読んで来ることが求められます。授業で得た知識は自分なりに整理し、レポートに活かすことが望まれます。
連絡先 家永　真幸：enagaｌas@tmdac.jp
オフィスアワー 家永　真幸：毎週月・水曜日　PM 12:20-PM 13:10　管理研究棟３階 309 室

時間割番号	000724		
科目名	主題別選択Ⅱ（数理論理と形式言語）		
担当教員	清田　正夫		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時限：木曜日２時限
対象学科：医学科、歯学科
受講資格：
募集人数：30人以下
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：1−1），2-1）

授業の目的、概要等

数理論理学とは記号を用いて論理を数学的に考察する学問分野である。命題論理、述語論理、直観主義論理、様相論理などの多様な論理が存在する。ここでは、主として第1階述語論理をタブロー法により解説する。さらに、自然言語の形式的取り扱いとしてチョムスキーの生成文法を学ぶ。授業は講義形式で行なうが、テーマによってはセミナー形式をとることもある。

授業の到達目標(SBOs)

第1階述語論理における恒真式をタブロー法により証明することが出来る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
2	6/16	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
3	6/23	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
4	6/30	1005-1055	特別講堂	清田　正夫
5	7/7	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
6	7/14	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫
7	7/21	1005-1055	医学科講義室1	清田　正夫

授業方法

主として講義を行なう。

授業内容

第1回ー第2回　命題論理の意味論と構文論
第3回ー第5回　タブロー法による第1階述語論理
第6回ー第7回　チョムスキーの生成文法

成績評価の方法

評価：試験0%・レポート80%・その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

準備学習などについての具体的な指示

講義内容の詳細をWebClassに載せているので、復習すること。

教科書

プリントを配付する。
授業資料はWebClassに掲載してある。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。

連絡先

清田　正夫kiyota.has@tmdac.jp
オフィスアワー
清田　正夫毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000737		
科目名	主題別選択Ⅱ（医療技術と物理）		
担当教員	檜枝　光憲		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間：木曜2限
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1）別表2－2）別表2－4）
別表4－2）

授業の目的、概要等

医療技術は物理学と大いに関係しています。医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど本当に多くの医療のための基礎技術が物理学者によって発見されており、物理学と密接に関係しています。本授業はゼミ形式で進め、受講者自らの発表を通して医療技術と物理の密接な関係について理解を深めていきます。

授業の到達目標(SBOs)

医療技術と物理の関係について具体例がイメージできるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室4	檜枝　光憲

授業方法

ゼミ形式で行います。
初回に分担を決め、順番に発表を行ってもらいます。

授業内容

第1回　イントロダクション
第2回　医学と波・音（超音波）
第3回　医学と電気・電気技術（心電計、脳波計）
第4回　医学と光学（レンズ、顕微鏡）
第5回　医学と原子物理学（X 線、レーザー）
第6回　医学と原子核物理（磁気共鳴、放射線）
第7回　医学とナノテクノロジー

成績評価の方法

評価　：　その他　100　％
（発表点、レポート点（発表資料）、平常点（出席、議論等への参加度））
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

発表準備のために教科書以外の参考書や他の関連図書を探して読むこと。

参考書

医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,: 東京教学社, 2013
履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。
連絡先 檜枝 光憲hieda.as@tmd.ac.jp
オフィスアワー 檜枝 光憲毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000726		
科目名	主題別選択Ⅱ（微分方程式演習）		
担当教員	越野　和樹		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜2限
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表2－1）
　別表4－2）

授業の目的、概要等

私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。

授業の到達目標(SBOs)

問題演習をとおして，数理科学的能力を高めること

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	共用セミナー室5	越野　和樹
2	6/16	10:05-10:55	共用セミナー室5	越野　和樹
3	6/23	10:05-10:55	共用セミナー室5	越野　和樹
4	6/30	10:05-10:55	共用セミナー室5	越野　和樹
5	7/7	10:05-10:55	共用セミナー室5	越野　和樹
6	7/14	10:05-10:55	共用セミナー室5	越野　和樹
7	7/21	10:05-10:55	共用セミナー室5	越野　和樹

授業方法

各講義の前半に基礎知識の確認を行い，後半を試験とする。

授業内容

・物理数学演習
・電磁気学演習
・力学演習

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）0%・レポート0%・その他（各講義での小テスト）100%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

特別な準備は必要ないが，講義前半の基礎知識確認に集中すること.

参考書

「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか　共立出版

履修上の注意事項

解析学・線形代数の双方に十分な技術を有することを前提としている.

連絡先

越野　和樹：kuzak.has@tmdac.jp

オフィスアワー

越野 和樹毎週月曜日 12:00--13:00 ヒポクラテス4階

時間割番号	000727		
科目名	主題別選択Ⅱ（タンパク質科学の光と影）		
担当教員	奈良　雅之		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
1-3)人間の歴史的営みを理解する。
1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる
2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る
4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴（NMR）、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。

授業の到達目標(SBOs)

授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室12	奈良　雅之

授業方法

講義形式による。
（履修者が10名以下の場合は、履修者の希望に応じてセミナー形式で行うこともできます。）

授業内容

21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。

成績評価の方法

評価：試験0%・レポート 80%

その他（授業への参加度 20%）

再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：配付資料に目を通してください。

復習：興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

（レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。）

参考書

タンパク質の生命科学 ：ポスト・ゲノム時代の主役／池内俊彦 著,：中央公論新社, 2001

ポストゲノム時代のタンパク質科学 ：構造・機能・ゲノミクス／Arthur M Lesk 著,高木淳一 訳,：化学同人, 2007

入門構造生物学 ：放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く／高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編,：共立出版, 2010

タンパク質の構造と機能 ：カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳,：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM 0:00-PM 2:00, 毎週金曜日 PM 0:00-PM 1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000719		
科目名	主題別選択Ⅱ（生物利用の科学）		
担当教員	大塚　淳		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間：木曜日（後半７回）・2 時限
対象学科：医学科・歯学科
募集人数：30 名（主題別選択Ⅰ（生物利用の科学）と合わせて）
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表１－３）　人間の歴史的営みを理解する
　別表１－１０）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

農畜産物、発酵食品、衣類、医薬品、建築物などは、人間が過酷な環境で生き延び、豊かな生活を獲得することに貢献しました。これらは人間が他の生物を利用することによって得られたものがほとんどで、現在も非生物的なプロセスでは代替できないものが多く存在します。この授業では、食品、素材、医薬品等に関する生物利用の例に触れ、その多くが微生物のはたらきによって支えられていることを紹介します。人間がなぜ他の生物を利用しなければならなかったのか、および現在の私たちの生活がどのように成り立っているのかを理解してもらうことがこの授業の目的です。

授業の到達目標(SBOs)

生物利用の歴史と現状を科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめてもらいます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室11	大塚　淳

授業方法

講義形式と基本としますが、テーマによっては学生による発表形式を採用します。

授業内容

有用生物の特性と人間の関わりについて学びます。

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他（授業への参加度） 20%
再評価 ： 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で扱った事項について書籍やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめておいてください。 その他、教員からの指示を参考に学習してください。
試験の受験資格 2/3 以上出席した者に、レポート提出の資格を与えます。
連絡先 大塚　淳:ohtsuka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大塚　淳:毎週金曜日　PM 12:00-PM 1:00　ヒポクラテスホール4階

時間割番号	000729		
科目名	主題別選択Ⅱ（危険物の科学）		
担当教員	勝又　敏行		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間：木曜日　2限

対象学科：医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表1−2）社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表1−10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。

授業の到達目標(SBOs)

危険物の安全な取扱方法を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	共用セミナー室1	勝又　敏行
2	6/16	10:05-10:55	共用セミナー室1	勝又　敏行
3	6/23	10:05-10:55	共用セミナー室1	勝又　敏行
4	6/30	10:05-10:55	共用セミナー室1	勝又　敏行
5	7/7	10:05-10:55	共用セミナー室1	勝又　敏行
6	7/14	10:05-10:55	共用セミナー室1	勝又　敏行
7	7/21	10:05-10:55	共用セミナー室1	勝又　敏行

授業方法

講義形式による

授業内容

1. 関係法令
2. 危険物とは何か
3. 第1類～第3類の性質
4. 第4類の性質
5. 第5類、第6類の性質
6. 消火法について
7. 火事の事例

成績評価の方法

評価：試験　0%、レポート　100%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。

参考書

基礎火災現象原論／James G Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳,: 共立出版, 2009

連絡先
勝又　敏行katsumata.las@tmdac.jp
オフィスアワー
勝又　敏行毎週木曜日 12:00-13:00　ヒポクラテス2階化学実験準備室

時間割番号	000730		
科目名	主題別選択Ⅱ（老化と寿命）		
担当教員	服部　淳彦		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。
　１－１０）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。

授業の目的、概要等

「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化と関連した病気についてはじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。

授業の到達目標(SBOs)

生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
2	6/16	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
3	6/23	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
4	6/30	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
5	7/7	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
6	7/14	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦
7	7/21	1005-1055	共用セミナー室10	服部　淳彦

授業方法

セミナー形式による（各自に発表してもらう）。したがって、募集人数は15名をMAXとする。

授業内容

老化現象と老化の原因（概要）
骨の老化
皮膚の老化
脳の老化
血管の老化
老化と遺伝子
抗加齢医学

成績評価の方法 評価:その他　100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価:　有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。
連絡先 服部　淳彦ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 服部　淳彦毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ4F　教員研究室(A2)

時間割番号	000708		
科目名	主題別選択Ⅱ（環境への適応）		
担当教員	伊藤　正則		
開講時期	前期	対象年次	3

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表1ー8）自己の心と体を管理する能力を獲得する。
　別表2ー4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

授業の目的、概要等

外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物では、ほぼ特定の刺激に対して定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に生物環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いて、生物の環境適応の多様性について理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1）生体の基本構造を説明することができる。
2）生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。
3）知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。
4）研究テーマ・目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
2	6/16	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
3	6/23	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
4	6/30	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
5	7/7	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
6	7/14	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則
7	7/21	1005-1055	医学科講義室2	伊藤　正則

授業方法

講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。

授業内容

生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文（生物の環境適応に関する論文）を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。

成績評価の方法

評価：試験 0%・レポート 80%
　その他（授業への参加度・授業中の回答状況）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予習は予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。
試験の受験資格 2/3以上出席したものにレポート提出の資格を与える。
教科書 :羊土社 必要に応じて関連資料を配布する。
参考書 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／S S .M adar:医学書院, 2005 改訂第2版イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008 イラスト生理学／照井 直人:羊土社, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 伊藤 正則:itohm t.las@ tm d.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM 10:00-PM 2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000732		
科目名	主題別選択Ⅱ（民主主義を再考する）		
担当教員	藤井　達夫		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間:　木曜　2 限
対象学科:　医学科歯学科
募集人数:　25 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-6)、1-7)、1-8)、1-9)、2-4)

授業の目的、概要等

この授業では、近代以降の民主主義の歴史をたどりながら、現在の民主主義の閉塞状況を批判的に検討します。この検討を手掛かりにして、これからの社会をどのように作り上げていくのか履修者の皆さんと一緒に考えます。誰もが民主主義は私たちの社会のあり方――医療制度を含め――を決定する重要な政治の原理であり、手続きであると認めます。しかしながら、民主主義の内実をしっかり理解している人はどれほどいるのでしょうか。今年度は、参議院選挙や憲法改正の動向の強まりをふまえ、憲法問題や日本の戦後民主主義にも焦点を当てていきます。

授業の到達目標(SBOs)

⑴民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の民主社会が抱える問題について議論することができる。
⑵人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することできる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55	大学院講義室4	藤井　達夫
2	6/16	10:05-10:55	大学院講義室4	藤井　達夫
3	6/23	10:05-10:55	大学院講義室4	藤井　達夫
4	6/30	10:05-10:55	大学院講義室4	藤井　達夫
5	7/7	10:05-10:55	大学院講義室4	藤井　達夫
6	7/14	10:05-10:55	大学院講義室4	藤井　達夫
7	7/21	10:05-10:55	大学院講義室4	藤井　達夫

授業方法

講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。

授業内容

第 1 回　民主主義の赤字――現代の民主主義の何が問題か？――
第 2 回　古代の民主主義と近代の民主主義
第 3 回　民主主義と選挙――よくありがちな誤解について――
第 4 回　ポピュリズムとエリート主義――民主主義の病理について――
第 5 回　戦後民主主義とは何か――その始まりから考える――
第 6 回　憲法と民主主義――立憲主義・憲法制定権力・憲法改正――
第 7 回　　まとめ
※以上の授業計画には、変更の可能性があります。

成績評価の方法

評価　：　レポート　80%　・　その他(授業での取り組み)　　20%
再評価:　　有(再評価方法)レポート

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 教科書は使用しません。
参考書 オーウェル『カタロニア賛歌』(岩波文庫、1992 年) 小熊英二『社会を変えるには』(講談社現代新書、2012 年) 赤坂真理『愛と暴力の戦後とその後』(講談社現代新書、2014 年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。
連絡先 藤井　達夫 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 藤井　達夫 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000733		
科目名	主題別選択Ⅱ（英語で学ぶヒトの脳と言語）		
担当教員	時本　楠緒子		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日･時間:　木曜日･2 時限　(10:05-10:55)
対象学科:医･歯学科
募集人数:25 人
単位:前半 7 回と後半 7 回、合計 2 科目を履修して 1 単位取得
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する。
別表 1-7) 人間の心への理解を深める。
別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。
別表 2-4) 自己問題提起･解決型の学習方法を身につける。

授業の目的、概要等

地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を学びます。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。講義は英語で記述された配布資料に基づき、日本語と英語で行います。

授業の到達目標(SBOs)

(1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。
(2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。
(3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	1005-1055	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本　楠緒子
2	6/16	1005-1055	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本　楠緒子
3	6/23	1005-1055	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本　楠緒子
4	6/30	1005-1055	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本　楠緒子
5	7/7	1005-1055	医学科演習室5ー3, 医学科演習室5ー4	時本　楠緒子
6	7/14	1005-1055	医学科演	時本　楠緒子

主題別人文社会科学セミナー・講義

●医学科・歯学科（3年生）：主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール

			3時限（11:10～12:00）														
			文化			生命			言語			制度			時間		
月日	曜日		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
4月7日	木	1	オリエンテーション（医学科講義室2）			オリエンテーション（大学院講義室2）			オリエンテーション（大学院講義室1）			オリエンテーション（大学院講義室3）			オリエンテーション（大学院講義室4）		
4月14日	木	2	セミナー（共用セミナー⑪）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑨）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑦）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑩）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑫）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）
4月21日	木	3															
4月28日	木	4															
5月12日	木	5															
5月19日	木	6															
5月26日	木	7															
6月2日	木	8															
6月9日	木	1	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑪）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑨）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑦）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑩）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑫）	医療と法（大学院講義室③）
6月16日	木	2															
6月23日	木	3															
6月30日	木	4															
7月7日	木	5															
7月14日	木	6															
7月21日	木	7															
9月8日	木	／	予備日（1限：9:00～9:50）														
9月29日	木		医歯学基盤教育														
10月6日	木	1	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑪）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑨）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑦）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑩）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（大学院講義室④）	セミナー（共用セミナー⑫）
10月13日	木	2															
10月27日	木	3															
11月10日	木	4															
11月17日	木	5															
11月24日	木	6															
12月1日	木	7															
12月8日	木	1	総括セミナー（医学科講義室2）			総括セミナー（症例検討室）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（大学院講義室3）			総括セミナー（大学院講義室4）		
12月15日	木	2	合同総括セミナー（医学科講義室2）			総括セミナー（症例検討室）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（大学院講義室3）			総括セミナー（大学院講義室4）		
12月22日	木	3	総括セミナー（医学科講義室2）			合同総括セミナー（症例検討室）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（大学院講義室3）			総括セミナー（大学院講義室4）		
1月5日	木	4	総括セミナー（医学科講義室2）			総括セミナー（症例検討室）			合同総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（大学院講義室3）			総括セミナー（大学院講義室4）		
1月12日	木	5	総括セミナー（医学科講義室2）			総括セミナー（症例検討室）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			合同総括セミナー（大学院講義室3）			総括セミナー（大学院講義室4）		
1月19日	木	6	総括セミナー（医学科講義室2）			総括セミナー（症例検討室）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（大学院講義室3）			合同総括セミナー（大学院講義室4）		
1月26日	木	7	総括セミナー（医学科講義室2）			総括セミナー（症例検討室）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（大学院講義室3）			総括セミナー（大学院講義室4）		
2月2日	木	8	総括セミナー（医学科講義室2）			総括セミナー（症例検討室）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（大学院講義室3）			総括セミナー（大学院講義室4）		

時間割番号	000801		
科目名	人文社会科学講義（医療と社会）		
担当教員	藤井　達夫		
開講時期	通年	対象年次	3

曜日・時間:　木曜　3限
対象学科:　医・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)、1-4)、1-5)、1-8)、1-9)、2-4)、2-5)

授業の目的、概要等

巨大化し複雑化した現代の社会は、政治や経済、教育など、相対的に自律した諸システムから構成され、それらの相互作用によって機能しています。この授業では、医療およびそれを支える制度を社会システムの一つとして理解することで、その特徴や、それが抱える問題について検討します。特に、今年度は、日本の病院制度や医療保険制度の歴史に加え、医療資源の公正な配分について考えたいと思います。

授業の到達目標(SBOs)

⑴医療およびその制度を、社会を構成する諸システムの一つとして理解し、政治や経済などの他の諸システムとの関係からそのあり方を分析することができる。
⑵社会システムとしての医療およびそれを支える諸制度の歴史と仕組みを理解した上で、現在の医療システムが抱える問題点・課題を発見し、その解決策について議論することができる。
⑶これまでに学んだ知識や獲得した視野と、総括セミナーでの思考の深化とを架橋することができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/7	11:10-12:00	大学院講義室4	オリエンテーション	藤井　達夫
2	4/14	11:10-12:00	大学院講義室4	第1回	藤井　達夫
3	4/21	11:10-12:00	大学院講義室4	第2回	藤井　達夫
4	4/28	11:10-12:00	大学院講義室4	第3回	藤井　達夫
5	5/12	11:10-12:00	大学院講義室4	第4回	藤井　達夫
6	5/19	11:10-12:00	大学院講義室4	第5回	藤井　達夫
7	5/26	11:10-12:00	大学院講義室4	第6回	藤井　達夫
8	6/2	11:10-12:00	大学院講義室4	第7回	藤井　達夫
9	6/9	11:10-12:00	大学院講義室4	第1回	藤井　達夫
10	6/16	11:10-12:00	大学院講義室4	第2回	藤井　達夫
11	6/23	11:10-12:00	大学院講義室4	第3回	藤井　達夫
12	6/30	11:10-12:00	大学院講義室4	第4回	藤井　達夫
13	7/7	11:10-12:00	大学院講義室4	第5回	藤井　達夫
14	7/14	11:10-12:00	大学院講義室4	第6回	藤井　達夫
15	7/21	11:10-12:00	大学院講	第7回	藤井　達夫

			義室４		
16	10/6	11:10-12:00	大学院講義室４	第１回	藤井　達夫
17	10/13	11:10-12:00	大学院講義室４	第２回	藤井　達夫
18	10/27	11:10-12:00	大学院講義室４	第３回	藤井　達夫
19	11/10	11:10-12:00	大学院講義室４	第４回	藤井　達夫
20	11/17	11:10-12:00	大学院講義室４	第５回	藤井　達夫
21	11/24	11:10-12:00	大学院講義室４	第６回	藤井　達夫
22	12/1	11:10-12:00	大学院講義室４	第７回	藤井　達夫
23	12/8	11:10-12:00	大学院講義室４	総括セミナー	藤井　達夫
24	12/15	11:10-12:00	大学院講義室４	合同総括セミナー	藤井　達夫
25	12/22	11:10-12:00	大学院講義室４	合同総括セミナー	藤井　達夫
26	1/5	11:10-12:00	大学院講義室４	合同総括セミナー	藤井　達夫
27	1/12	11:10-12:00	大学院講義室４	合同総括セミナー	藤井　達夫
28	1/19	11:10-12:00	大学院講義室４	合同総括セミナー	藤井　達夫
29	1/26	11:10-12:00	大学院講義室４	総括セミナー	藤井　達夫
30	2/2	11:10-12:00	大学院講義室４	総括セミナー	藤井　達夫

授業方法

講義形式と授業内での質疑応答

授業内容

第１回　医療化された社会とその批判――医原病と脱医療化社会の試み

第２回　社会システムとしての医療――パーソンズを中心に

第３回　日本の医療制度の特徴(1)――病院

第４回　日本の医療制度の特徴(2)――医療保険

第５回　医療資源の配分とその問題

第６回　医療資源の配分における公正な原理とは何か――どのように、誰が決定すべきなのか

第７回　まとめと試験

※以上の授業計画には、変更の可能性があります。

成績評価の方法

評価　：　レポート　80%　・　その他（授業での取り組み）　　20%

再評価：　有（再評価方法）レポート

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

必要があれば、授業内で適宜、指示します。

教科書
教科書は使用しません。
参考書
イヴァン・イリイチ『脱病院化社会』(1998 年、晶文社)
J.C.キャンベル、池上直己『日本の医療』(1996 年、中公新書)
広井良典『医療保険改革の構想』(1997 年、日本経済新聞社)
猪飼周平『病院の世紀の理論』(2010 年、有斐閣)
真野俊樹『比較医療政策』(2013 年、ミネルヴァ書房)
履修上の注意事項
出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000802		
科目名	人文社会科学講義（医療と法）		
担当教員	飛田　綾子		
開講時期	通年	対象年次	3

曜日・時間：木曜日 3 時限（11 時 10 分から 12 時）

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表 1-2)人間の営みを知る。（ 社会制度や仕組みについての基本を理解する。）1-9)社会への責任を自覚する。（市民としての倫理観を養う。）

授業の目的、概要等

医療保険をはじめとする、日本の社会保障の全体像を説明します。年金や介護、生活保護などの受給資格や保障内容を紹介します。現在、政府が推進している社会保障改革についても説明します。また、アメリカやドイツなど他国との比較的視点も盛り込みつつ、日本の抱える問題点についても考えます。

授業の到達目標(SBOs)

(1)国民皆保険・皆年金を実現している日本の社会保障制度と、日本国憲法とのつながりを理解する。(2)制度が抱えている問題を、財政や制度内の不平等など多角的側面から考察できるようにする。(3)そうした問題点に対する自分の考えを持てるようにする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/7	11:10-12:00	大学院講義室 3	オリエンテーション	飛田　綾子
2	4/14	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 1 回	飛田　綾子
3	4/21	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 2 回	飛田　綾子
4	4/28	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 3 回	飛田　綾子
5	5/12	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 4 回	飛田　綾子
6	5/19	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 5 回	飛田　綾子
7	5/26	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 6 回	飛田　綾子
8	6/2	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 7 回	飛田　綾子
9	6/9	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 1 回	飛田　綾子
10	6/16	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 2 回	飛田　綾子
11	6/23	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 3 回	飛田　綾子
12	6/30	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 4 回	飛田　綾子
13	7/7	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 5 回	飛田　綾子
14	7/14	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 6 回	飛田　綾子
15	7/21	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 7 回	飛田　綾子
16	10/6	11:10-12:00	大学院講義室 3	第 1 回	飛田　綾子
17	10/13	11:10-12:00	大学院講	第 2 回	飛田　綾子

			義室３		
18	10/27	11:10-12:00	大学院講義室３	第３回	飛田　綾子
19	11/10	11:10-12:00	大学院講義室３	第４回	飛田　綾子
20	11/17	11:10-12:00	大学院講義室３	第５回	飛田　綾子
21	11/24	11:10-12:00	大学院講義室３	第６回	飛田　綾子
22	12/1	11:10-12:00	大学院講義室３	第７回	飛田　綾子
23	12/8	11:10-12:00	大学院講義室３	総括セミナー	飛田　綾子
24	12/15	11:10-12:00	大学院講義室３	合同総括セミナー	飛田　綾子
25	12/22	11:10-12:00	大学院講義室３	合同総括セミナー	飛田　綾子
26	1/5	11:10-12:00	大学院講義室３	合同総括セミナー	飛田　綾子
27	1/12	11:10-12:00	大学院講義室３	合同総括セミナー	飛田　綾子
28	1/19	11:10-12:00	大学院講義室３	合同総括セミナー	飛田　綾子
29	1/26	11:10-12:00	大学院講義室３	総括セミナー	飛田　綾子
30	2/2	11:10-12:00	大学院講義室３	総括セミナー	飛田　綾子

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。

授業内容

第１回 社会保障制度の概要 （憲法とのかかわり、戦後史の中での制度の変遷など）
第２回 医療保険（制度の概要、財政状況、強制加入になっている理由など）
第３回 年金保険（制度の概要、年金未納率の上昇に対する政府の対応策など）
第４回 社会福祉サービス（児童福祉、障害者福祉の概要、子育て支援の具体策、児童虐待における医療者の義務など）
第５回 公的扶助（生活保護の受給資格、給付内容、不正受給者対策の問題点など）
第６回 労働保険（雇用保険と労働災害保険の内容、日本の労働環境の抱える問題点など）
第７回 テスト

成績評価の方法

評価 ： 試験 80 ％ ・ レポート 0% ・ その他（リアクションペーパー ） 20 ％
再評価: 有（再評価方法レポート）試験の受験資格には３分の２以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

社会保障に関するニュースは、財政状況や保険料の引き上げなど、日々ニュースに取り上げられています。そうしたニュースに敏感になり、授業内容と関連付ける癖をつけてください。こうしたニュースに関しては、リアクションペーパー等で簡単に記述してもらおうと考えています。

教科書

特に指定しません。

参考書
椋原美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障（第 12 版）』有斐閣、2015 年。加藤智章ら『社会保障法（第 5 版）』有斐閣、2013 年。尾形健『福祉国家と憲法構造』有斐閣、2011 年。厚生労働省 HP:http://www.mhlw.go.jp/
履修上の注意事項
①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、出席調査票や簡単なリアクションペーパーの提出で行います。③3 分の 2 以上の出席を満たさなければ、原則、テストの受験資格を得られません。④代返などの不正行為には厳正に対処します。

時間割番号	000803		
科目名	主題別人文社会科学セミナー（文化と人間）		
担当教員	髙尾　千津子		
開講時期	通年	対象年次	3

曜日・時間：木曜３限
受講資格：「文化と人間」選択者

授業の目的、概要等

「都市の風景」を主題とする文献を読み、我が国や世界の都市文化、建築、異文化接触の歴史を考える。題材としては、「外国人が見た東京のイメージ」あるいは「失われた風景と文化遺産」などを予定している。映像資料なども利用しつつ、グループ討論を行う。後半のセミナーでは履修者の関心にしたがって各自の論文の構想を発表してもらい、複数の討論者を指名し、コメントや討論を行う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/7	11:10-12:00	医学科講義室２	オリエンテーション	髙尾　千津子
2	4/14	11:10-12:00	共用セミナー室11	第１回	髙尾　千津子
3	4/21	11:10-12:00	共用セミナー室11	第２回	髙尾　千津子
4	4/28	11:10-12:00	共用セミナー室11	第３回	髙尾　千津子
5	5/12	11:10-12:00	共用セミナー室11	第４回	髙尾　千津子
6	5/19	11:10-12:00	共用セミナー室11	第５回	髙尾　千津子
7	5/26	11:10-12:00	共用セミナー室11	第６回	髙尾　千津子
8	6/2	11:10-12:00	共用セミナー室11	第７回	髙尾　千津子
9	6/9	11:10-12:00	共用セミナー室11	第１回	髙尾　千津子
10	6/16	11:10-12:00	共用セミナー室11	第２回	髙尾　千津子
11	6/23	11:10-12:00	共用セミナー室11	第３回	髙尾　千津子
12	6/30	11:10-12:00	共用セミナー室11	第４回	髙尾　千津子
13	7/7	11:10-12:00	共用セミナー室	第５回	髙尾　千津子

			11		
14	7/14	11:10-12:00	共用セミナー室11	第6回	髙尾　千津子
15	7/21	11:10-12:00	共用セミナー室11	第7回	髙尾　千津子
16	10/6	11:10-12:00	共用セミナー室11	第1回	髙尾　千津子
17	10/13	11:10-12:00	共用セミナー室11	第2回	髙尾　千津子
18	10/27	11:10-12:00	共用セミナー室11	第3回	髙尾　千津子
19	11/10	11:10-12:00	共用セミナー室11	第4回	髙尾　千津子
20	11/17	11:10-12:00	共用セミナー室11	第5回	髙尾　千津子
21	11/24	11:10-12:00	共用セミナー室11	第6回	髙尾　千津子
22	12/1	11:10-12:00	共用セミナー室11	第7回	髙尾　千津子
23	12/8	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー	髙尾　千津子
24	12/15	11:10-12:00	医学科講義室2	合同総括セミナー	髙尾　千津子
25	12/22	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー	髙尾　千津子
26	1/5	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー	髙尾　千津子
27	1/12	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー	髙尾　千津子
28	1/19	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー	髙尾　千津子
29	1/26	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー	髙尾　千津子
30	2/2	11:10-12:00	医学科講義室2	総括セミナー	髙尾　千津子

授業方法

演習形式

授業内容

ヘンリー・スミス「村としての東京　変転する近代日本の首都像」、渡部京二『逝きし世の面影』平凡社などの文献を利用する予定である。

成績評価の基準

セミナー論文 60%、授業への参加 20%、発表と討論 20%
準備学習などについての具体的な指示 配布したプリントを必ず読んでおくこと。報告と討論のための下準備をしておくこと。
教科書 シリーズ＊都市・建築・歴史／鈴木博之／〔ほか〕編,：東京大学出版会, 2006 プリントを配布する。
参考書 渡部京二著『逝きし世の面影』（平凡社）
連絡先 髙尾　千津子:takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 髙尾　千津子:毎週金曜日　12:30～13:30

時間割番号	000804		
科目名	主題別人文社会科学セミナー(生命と人間)		
担当教員	田中　智彦		
開講時期	通年	対象年次	3

◇ 曜日・時間:木曜2限
◇ 対象学科:医学科・歯学科
◇ 受講資格:「生命と人間」の主題であること
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1-3)人間の歴史的営みを理解する
別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

「生命」という概念をもつ生物は、おそらく人間だけでしょう。そしてそれゆえに、人間だけが自分の生命に「終わり」のあることを意識し、自分に生命が「ある」ことの意味を問う。あるいはそうせざるをえない。またそれゆえに人間だけが、生命とは何かを探究し、ついには生命を操作しようとしさえする。もっともこうしたことは、何も現代に特有のことではなく、人間が「人間」として言語と文化を獲得し、社会を築くようになって以来、連綿と続けられてきたことでした。

このことは他方で、私たちが生命について何ごとかを認識し、考え、語るときにはそこに、私たちの言語・文化・社会が色濃く影を落としていることを示唆します。そしてそうであるとするならば、そのような「影」にどれほど自覚的でありうるかは、私たちが生命について、また人間の生と死について、どれほど深く認識し、考え、語りうるかを左右することになるでしょう。そこでこのセミナーでは、そうした「自覚」や「深さ」へと接近する手立てとして、さまざまな論点について考察していきます。

授業の到達目標(SBOs)

セミナーでとりあげられる論点について理解するとともに、それらと各人がこれまでに学んできたこととを結びつけ、そうして「セミナー論文」のための適切な問題設定を見いだすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/7	11:10-12:00	大学院講義室2	オリエンテーション	田中　智彦
2	4/14	11:10-12:00	共用セミナー室9	第1回	田中　智彦
3	4/21	11:10-12:00	共用セミナー室9	第2回	田中　智彦
4	4/28	11:10-12:00	共用セミナー室9	第3回	田中　智彦
5	5/12	11:10-12:00	共用セミナー室9	第4回	田中　智彦
6	5/19	11:10-12:00	共用セミナー室9	第5回	田中　智彦
7	5/26	11:10-12:00	共用セミナー室9	第6回	田中　智彦
8	6/2	11:10-12:00	共用セミナー室9	第7回	田中　智彦
9	6/9	11:10-12:00	共用セミナー室9	第1回	田中　智彦
10	6/16	11:10-12:00	共用セミナー室9	第2回	田中　智彦
11	6/23	11:10-12:00	共用セミナー室9	第3回	田中　智彦

12	6/30	11:10-12:00	共用セミナー室9	第4回	田中 智彦
13	7/7	11:10-12:00	共用セミナー室9	第5回	田中 智彦
14	7/14	11:10-12:00	共用セミナー室9	第6回	田中 智彦
15	7/21	11:10-12:00	共用セミナー室9	第7回	田中 智彦
16	10/6	11:10-12:00	共用セミナー室9	第1回	田中 智彦
17	10/13	11:10-12:00	共用セミナー室9	第2回	田中 智彦
18	10/27	11:10-12:00	共用セミナー室9	第3回	田中 智彦
19	11/10	11:10-12:00	共用セミナー室9	第4回	田中 智彦
20	11/17	11:10-12:00	共用セミナー室9	第5回	田中 智彦
21	11/24	11:10-12:00	共用セミナー室9	第6回	田中 智彦
22	12/1	11:10-12:00	共用セミナー室9	第7回	田中 智彦
23	12/8	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー	田中 智彦
24	12/15	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー	田中 智彦
25	12/22	11:10-12:00	症例検討室	合同総括セミナー	田中 智彦
26	1/5	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー	田中 智彦
27	1/12	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー	田中 智彦
28	1/19	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー	田中 智彦
29	1/26	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー	田中 智彦
30	2/2	11:10-12:00	症例検討室	総括セミナー	田中 智彦

授業方法

授業は「講義＋ディスカッション」の形式で行う予定です。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

第1-2回　生命とは何か、生きているとはどういうことかをめぐって

第3-4回　「病む」とは、「老いる」とはどういうことかをめぐって

第5-6回　生命・身体と言語・文化・社会との関係性をめぐって

第7回　　セミナー論文の構想について

成績評価の方法

◇評価：セミナー論文　70%

その他　30%（出席状況、授業への参加度など）

◇再評価：有（レポート）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表２」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ セミナー論文の提出資格：原則７回中５回以上の出席
教科書 教科書はありません。毎回レジュメを配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中　智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中　智彦:毎週月曜日　12：30～13：30　管理研究棟２階 哲学研究室

時間割番号	000805		
科目名	主題別人文社会科学セミナー（言語と人間）		
担当教員	土佐　朋子		
開講時期	通年	対象年次	3

・曜日・時間：木曜３限
・対象学科：医学科・歯学科
・受講資格：「言語と人間」の主題であること
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

授業の目的、概要等

人間を他の生物から区別するものの一つに「言語」がある。人間は他者同士で構成されるこの社会において、他者とコミュニケートするために言語が必要となる。医療従事者も、常に「患者」という他者の言葉と向き合っていかねばならない立場にある。

我々は、人間が言葉を使っている、つまりある形を持った考えを言葉で表現して伝え、真実を言葉で再現して伝えていると思いがちである。

しかし、発話主体の制御を時に発話者の意図せぬところで意図せぬメッセージとなって他者に受け取られたり、同じ「真実」であるはずなのにまったく異なる真実が語り出されるということを、我々は日々経験する。

なぜこのようなことが起こるのだろうか。人間と言語との関係はどのようになっているのか。本当に人間は言語活動の主体たり得るのか。

このような問題意識のもとで、これまで構築されてきた言語や語りに関する理論のいくつかを学び、言語と人間に関する自分なりの見解を持ち、他者の言葉にどう向き合うべきなのか、患者の言葉をどう聞くべきなのか、抽象的かつ具体的に考察することが目的である。

授業の到達目標(SB0s)

①人間と言葉の関係性について理解を深める。
②先人の理論を学びながら、自分自身の人生や生活に引きつけて考察できるようなる。
③セミナー論文で現段階における見解をまとめる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/7	11:10-12:00	大学院講義室１	オリエンテーション	土佐　朋子
2	4/14	11:10-12:00	共用セミナー室７	第１回	土佐　朋子
3	4/21	11:10-12:00	共用セミナー室７	第２回	土佐　朋子
4	4/28	11:10-12:00	共用セミナー室７	第３回	土佐　朋子
5	5/12	11:10-12:00	共用セミナー室７	第４回	土佐　朋子
6	5/19	11:10-12:00	共用セミナー室７	第５回	土佐　朋子
7	5/26	11:10-12:00	共用セミナー室７	第６回	土佐　朋子
8	6/2	11:10-12:00	共用セミナー室７	第７回	土佐　朋子
9	6/9	11:10-12:00	共用セミナー室７	第１回	土佐　朋子
10	6/16	11:10-12:00	共用セミナー室７	第２回	土佐　朋子
11	6/23	11:10-12:00	共用セミナー室７	第３回	土佐　朋子

12	6/30	11:10-12:00	共用セミナー室7	第4回	土佐 朋子
13	7/7	11:10-12:00	共用セミナー室7	第5回	土佐 朋子
14	7/14	11:10-12:00	共用セミナー室7	第6回	土佐 朋子
15	7/21	11:10-12:00	共用セミナー室7	第7回	土佐 朋子
16	10/6	11:10-12:00	共用セミナー室7	第1回	土佐 朋子
17	10/13	11:10-12:00	共用セミナー室7	第2回	土佐 朋子
18	10/27	11:10-12:00	共用セミナー室7	第3回	土佐 朋子
19	11/10	11:10-12:00	共用セミナー室7	第4回	土佐 朋子
20	11/17	11:10-12:00	共用セミナー室7	第5回	土佐 朋子
21	11/24	11:10-12:00	共用セミナー室7	第6回	土佐 朋子
22	12/1	11:10-12:00	共用セミナー室7	第7回	土佐 朋子
23	12/8	11:10-12:00	第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室	総括セミナー	土佐 朋子
24	12/15	11:10-12:00	第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室	総括セミナー	土佐 朋子
25	12/22	11:10-12:00	第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室	総括セミナー	土佐 朋子
26	1/5	11:10-12:00	第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室	合同総括セミナー	土佐 朋子
27	1/12	11:10-12:00	第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室	総括セミナー	土佐 朋子
28	1/19	11:10-12:00	第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室	総括セミナー	土佐 朋子
29	1/26	11:10-12:00	第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室	総括セミナー	土佐 朋子
30	2/2	11:10-12:00	第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室	総括セミナー	土佐 朋子

授業方法

演習形式。

授業内容

10人程度のグループごとに、文献にもとづく演習を行う。

扱う文献は、ソシュール、ヴァンベニスト、時枝誠記、ロラン・バルトの各論考の予定だが、変更すること可能性もある。演習方式については授業中に説明する。詳しい日程は、授業詳細日程を参照のこと。

成績評価の方法

評価：試験0%・セミナー論文50%

その他（授業への参加度・発表内容等）50%

再評価：有（再評価方法　再レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

文献をしっかりと読むこと。発表には全力で取り組むこと。セミナー論文で取り組む具体的な問題を早めに考えること。

教科書

プリントを使用する。

参考書

言語の社会心理学―伝えたいことは伝わるのか」／岡本真一郎：中公新書，2013

ことばの力学―応用言語学への招待／白井恭弘：岩波新書，2013

言語学の教室　哲学者と学ぶ認知言語学／野矢茂樹・西村義樹：中公新書，2013

ロラン・バルト『物語の構造分析』（みすず書房、1979）、同『言語のざわめき』（みすず書房、1987）、同『零度のエクリチュール』（ちくま学芸文庫、1999）、同『恋愛のディスクール・断章』（みすず書房、1980）E・バンヴェニスト『一般言語学の諸問題』（みすず書房、1983）、時枝誠記『国語学原論』（岩波文庫、2007）、ソシュール『一般言語学講義』（岩波書店、1972）、野家啓一『物語の哲学』（岩波現代文庫、2005）、吉本隆明『定本　言語にとって美とは何かⅠ・Ⅱ』（角川ソフィア文庫、2001）、シュタンツェル『物語の構造』（岩波書店、1989）、大森荘藏『時間と自我』（青土社、1992）、同『時間と存在』（同、1994）、野口裕二編『ナラティヴ・アプローチ』（勁草書房、2009）、ブルーナー『ストーリーの心理学』（ミネルヴァ書房、2007）、丸山圭三郎『言葉とは何か』（ちくま学芸文庫、2008）、磯部光章『話を聞かない医師　思いが言えない患者』（集英社新書、2011）など。このほか、授業中に紹介する。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先

土佐　朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土佐　朋子:毎週水曜　PM.12:30–PM.14:50

管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000806		
科目名	主題別人文社会科学セミナー（制度と人間）		
担当教員	青山　豊		
開講時期	通年	対象年次	3

曜日・時間：木曜日 3 時限（11 時 10 分～12 時）
受講資格：主題「制度と人間」コースであること
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：：1－2)、1－9)、1－10)、3－3)

授業の目的、概要等

憲法は何のためにあるのか。立憲主義とはどういう考えなのか。憲法は私たちに明るい未来を保障するどころか、時には人々の生活や生命をも左右する「危険」な存在になりうる。改憲論議が高まりつつある現在、憲法にまつわる様々な誤解や幻想を指摘しながら、その本質についての冷静な考察を促すことを目指す。

授業の到達目標(SBOs)

現代国家における立憲主義と民主主義との併存可能性を制度構造の観点から説明できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/7	11:10-12:00	大学院講義室 3	オリエンテーション	青山　豊
2	4/14	11:10-12:00	共用セミナー室 10	第 1 回	青山　豊
3	4/21	11:10-12:00	共用セミナー室 10	第 2 回	青山　豊
4	4/28	11:10-12:00	共用セミナー室 10	第 3 回	青山　豊
5	5/12	11:10-12:00	共用セミナー室 10	第 4 回	青山　豊
6	5/19	11:10-12:00	共用セミナー室 10	第 5 回	青山　豊
7	5/26	11:10-12:00	共用セミナー室 10	第 6 回	青山　豊
8	6/2	11:10-12:00	共用セミナー室 10	第 7 回	青山　豊
9	6/9	11:10-12:00	共用セミナー室 10	第 1 回	青山　豊
10	6/16	11:10-12:00	共用セミナー室 10	第 2 回	青山　豊
11	6/23	11:10-12:00	共用セミナー室 10	第 3 回	青山　豊
12	6/30	11:10-12:00	共用セミナー室	第 4 回	青山　豊

			10		
13	7/7	11:10-12:00	共用セミナー室10	第5回	青山 豊
14	7/14	11:10-12:00	共用セミナー室10	第6回	青山 豊
15	7/21	11:10-12:00	共用セミナー室10	第7回	青山 豊
16	10/6	11:10-12:00	共用セミナー室10	第1回	青山 豊
17	10/13	11:10-12:00	共用セミナー室10	第2回	青山 豊
18	10/27	11:10-12:00	共用セミナー室10	第3回	青山 豊
19	11/10	11:10-12:00	共用セミナー室10	第4回	青山 豊
20	11/17	11:10-12:00	共用セミナー室10	第5回	青山 豊
21	11/24	11:10-12:00	共用セミナー室10	第6回	青山 豊
22	12/1	11:10-12:00	共用セミナー室10	第7回	青山 豊
23	12/8	11:10-12:00	大学院講義室3	総括セミナー	青山 豊
24	12/15	11:10-12:00	大学院講義室3	総括セミナー	青山 豊
25	12/22	11:10-12:00	大学院講義室3	総括セミナー	青山 豊
26	1/5	11:10-12:00	大学院講義室3	総括セミナー	青山 豊
27	1/12	11:10-12:00	大学院講義室3	合同総括セミナー	青山 豊
28	1/19	11:10-12:00	大学院講義室3	総括セミナー	青山 豊
29	1/26	11:10-12:00	大学院講義室3	総括セミナー	青山 豊
30	2/2	11:10-12:00	大学院講義室3	総括セミナー	青山 豊

授業方法

講義とゼミを並行的に行う

授業内容 第 1 回　立憲主義の成立 第 2 回　日本の伝統と公私の区分 第 3 回　憲法改正論議を考える 第 4 回　立憲主義と冷戦後の世界 第 5 回　立憲主義と民主主義 第 6 回　民主主義になぜ憲法が必要か 第 7 回　二元的民主政
成績評価の方法 評価　：　試験　0　％　・　レポート　85　％　・　その他(　出席　)15　％
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 指定教科書および配布プリントを事前に必ず精読し、配布プリント記載の例題に対応すること
教科書 長谷部恭男・杉田敦著『憲法と民主主義の論じ方』(朝日新聞出版、2016)
参考書 愛敬浩二『改憲問題』(ちくま新書、2006 年)、宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』(岩波新書、2010 年)、佐々木毅『民主主義という不思議な仕組み』(ちくまプリマー新書、2007 年)、杉田敦『デモクラシーの論じ方－論争の政治』(ちくま新書、2001 年)、長谷部恭男『憲法と平和を問いなおす』(ちくま新書、2004 年)、樋口陽一『個人と国家』(集英社新書、2000 年)、長谷部恭男『憲法とは何か』(岩波新書、2006)
履修上の注意事項 毎回出欠を確認します。10 分以上の遅刻は欠席扱いとなり、減点対象になりますので気を付けて下さい。
連絡先 青山　豊:教養教務・支援係までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 青山　豊:教養教務・支援係までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000807		
科目名	主題別人文社会科学セミナー(時間と人間)		
担当教員	飯田　卓		
開講時期	通年	対象年次	3

曜日・時間:　木曜　3限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3)、1-4)、1-5)、2-5)

授業の目的、概要等

本セミナーでは、時間の観点から、人間あるいは人間の生死の問題について考察します。それは、私たちの経験がどのように可能であり、どのように不可能であるのかということを考えることでもあります。ただし、時間の存在を素朴に自明視したまま、人間について中心的に考察するわけではありません。たとえば、しばしばなされるように時間を「t」で表すことによって、時間を流れではなく、空間上の軌跡として捉えれば(時間の空間化)、それで事足りるといったわけではありません。むしろここで問題にしたい時間とは、「t」で表したり微分操作をしたりする以前の時間なのです。あるいは、人間の意識や行為から独立して時間なるものが存在すると想定したうえで、そのような時間が一方的に人間を規定・拘束する在り方を考察するわけではありません。時間の実在を認める立場には、時間に関する常識的見方だけでなく、キリスト教における世界創造説、近代以降の自然科学的見方、そして人文・社会科学的見方もその大部分が含まれますが、むしろここでの目的は、そうした見方を批判的に吟味しながら、時間と人間について考察することにあります。

時間を無条件に実体化して捉える実在論的独断や、時間を主観的観念あるいは意識に還元する観念論的独断に陥ることなく、時間と人間について考察しようとするならば、時間の量的な側面(物理的・客観的時間等)、または時間の質的な側面(過去・現在・未来という様相、体験的・行為的時間等)の一方のみをもって時間の本質とみなしてしまうのではなく、なによりも両者の相互反映的な関係を問うことが求められるでしょう。すなわち、時間を二つ以上の出来事(変化)の相関(天体の運動・時計等と人間の意識・行為等との相関)と捉えたうえで、両者を媒介するような意味というものに注目し、時間というものが、さまざまな文化・社会・歴史的状況に置かれた人間を経由してはじめてその時間的意味を獲得し(たとえば、現在の行為における関心によって先取りされる未来とのかかわりが、時間に実質と意味を与える)、同時にこのような仕方で構成された時間を背景(前提)として人間(による時間構成)もまた成立するという、いわば自己言及的な循環から時間と人間との関係を考察する必要があるのです。時間という概念は、そのうちに人間の意識や行為を含んでいると言ってもよいでしょう。この意味で、時間への問いとは自己への問いでもあり、その解明の作業は同時に自己反省の作業となるはずです。

授業の到達目標(SBOs)

「〇〇とは何か」という問いは、その問い自体が〇〇についての一定の知識を論理的に前提しています。そして時間に関するかぎり、「〇〇とは何か」という問い方は、十分に吟味しなければけっして正しい問いの立て方とは言えません。というのは、時間について問うたり語ったりすること自体が、時間を必要としているという事情があるだけでなく、「時間とは何か」という問いの形式そのものが、先に述べたような時間についての一定の先入見(実体化)に基づいているために、その妥当性を吟味しなければ、この問いは問いとして正当かつ十分な資格を持ちえないからです。時間についての問い方が誤っているということは、時間にアプローチする基本的な姿勢が誤っていることにほかならないのです。このことを踏まえて本セミナーでは、まずは文献講読と討議を通して、時間を自明視しない姿勢を身につけること。そして変化や運動、継起の順序、持続や流れ、過去・現在・未来、連続性といった時間に関する基本的な諸概念を理解したうえで、時間と人間について考察できるようになること。そのうえで、各自の興味・関心にしたがって最終的に執筆する「セミナー論文」において、(その主題が生物的時間であれ、物理的時間であれ、社会的時間であれ、心理的時間であれ、歴史的時間であれ、文学的時間であれ、芸術的時間であれ・・・)正しく問いを設定し、一定の結論を導くことができるようになること。以上のことを到達目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/7	11:10-12:00	大学院講義室4	オリエンテーション	飯田　卓
2	4/14	11:10-12:00	共用セミナー室12	第1回	飯田　卓
3	4/21	11:10-12:00	共用セミナー室12	第2回	飯田　卓
4	4/28	11:10-12:00	共用セミナー室12	第3回	飯田　卓
5	5/12	11:10-12:00	共用セミ	第4回	飯田　卓

			ナー室 12		
6	5/19	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第5回	飯田 卓
7	5/26	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第6回	飯田 卓
8	6/2	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第7回	飯田 卓
9	6/9	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第1回	飯田 卓
10	6/16	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第2回	飯田 卓
11	6/23	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第3回	飯田 卓
12	6/30	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第4回	飯田 卓
13	7/7	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第5回	飯田 卓
14	7/14	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第6回	飯田 卓
15	7/21	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第7回	飯田 卓
16	10/6	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第1回	飯田 卓
17	10/13	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第2回	飯田 卓
18	10/27	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第3回	飯田 卓
19	11/10	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第4回	飯田 卓
20	11/17	11:10-12:00	共用セミナー室 12	第5回	飯田 卓
21	11/24	11:10-12:00	共用セミナー室	第6回	飯田 卓

			12		
22	12/1	11:10-12:00	共用セミナー室12	第7回	飯田 卓
23	12/8	11:10-12:00	大学院講義室4	総括セミナー	飯田 卓
24	12/15	11:10-12:00	大学院講義室4	総括セミナー	飯田 卓
25	12/22	11:10-12:00	大学院講義室4	総括セミナー	飯田 卓
26	1/5	11:10-12:00	大学院講義室4	総括セミナー	飯田 卓
27	1/12	11:10-12:00	大学院講義室4	総括セミナー	飯田 卓
28	1/19	11:10-12:00	大学院講義室4	合同総括セミナー	飯田 卓
29	1/26	11:10-12:00	大学院講義室4	総括セミナー	飯田 卓
30	2/2	11:10-12:00	大学院講義室4	総括セミナー	飯田 卓

授業方法

演習形式

授業内容

授業は演習形式で進めてゆきますので、各回とも履修者各自による発表・質問・討議が中心となります。前半(グループ別)では、履修者の興味・関心に沿って比較的平易な時間に関する文献をいくつか選び、それらを全員で講読します。具体的には履修者のあいだで分担(発表・質問担当)を決め、発表担当者には PowerPoint を用いて内容について報告を行っていただきます。そして報告された内容をもとに討議を行うという仕方で進めてゆきます。後半(総括セミナー)では各自の興味・関心にしたがった研究の成果を報告していただき、その報告をもとに討議を行うという仕方で進めてゆきます。

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート(セミナー論文) 70% ・ その他(出席・コメントシート等) 30%

再評価: 有(セミナー論文再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

配布された文献は、次回までに目を通しておいてください。

教科書

とくに必要ありません。参考までに、昨年度のセミナーで用いた文献(論文集)を一部挙げておきます。広中平祐・井上愼一・金子務[編]『時間と時——今日を豊かにするために』日本学会事務センター学会出版センター(2002 年)、村上陽一郎[編]『東京大学教養講座3 時間と人間』東京大学出版会(1981 年)、向坊隆ほか『東京大学公開講座 時間』東京大学出版会(1980 年)、伏見康治・柳瀬睦男[編]『時間とは何か』中央公論社(1974 年)、渡辺慧・渡辺ドロテア『時間と人間』中央公論社(1979 年)、田山忠行[編]『時を編む人間——人文科学の時間論』北海道大学出版会(2015 年)、井上俊・上野千鶴子・大澤真幸・見田宗介・吉見俊哉[編]『岩波講座 現代社会学6 時間と空間の社会学』岩波書店(1996 年)、田島節夫・坂本賢三・市川浩・坂部恵・村上陽一郎[編]『講座現代の哲学1 時間・空間』弘文堂(1977 年)、大森荘蔵・滝浦静雄・中村雄二郎・藤沢令夫[編]『新岩波講座哲学7 トポス 空間 時間』岩波書店(1985 年)、小安増生・白井利明[編]『発達科学ハンドブック3 時間と人間』新曜社(2011 年)、橋本毅彦・栗山茂久[編]『遅刻の誕生——近代日本における時間意識の形成』三元社(2001 年)、「別冊・数理科学 時間論の諸パラダイム」サイエンス社(2004 年)等

参考書

教場にて適宜指示しますが、さしあたり以下の文献を挙げておきます。アリストテレス『アリストテレス全集3 自然学』岩波書店(1987 年)、H.ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』ちくま学芸文庫(2002 年)、E.フッサール『内的時間意識の現象学』みすず書房(1970 年)、M.ハイデガー『存在と時間』岩波文庫(2013 年)、E.ミンコフスキー『生きられる時間——現象学的・精神病理学的研究』みすず

書房（1972 年）、E.マッハ『時間と空間』法政大学出版局（2008 年）、P.ホーウィッチ『時間に向きはあるか』丸善（1992 年）、R.モリス『時間の矢』地人選書（1987 年）、B.リベット『マインド・タイム――脳と意識の時間』岩波書店（2005 年）、P.J.ズワルト『時間について』紀伊國屋書店（1980 年）、J.メイザー『ゼノンのパラドックス――時間と空間をめぐる 2500 年の謎』白揚社（2009 年）、R.ペドヴィン『時間と空間をめぐる 12 の謎』岩波書店（2012 年）、B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局（1997 年）、渡辺慧『時』河出書房新社（2012 年）、大森荘蔵『時間と自我』青土社（1992 年）、滝浦静雄『時間』岩波新書（1976 年）、植村恒一郎『時間の本性』勁草書房（2002 年）、入不二基義『時間は実在するか』講談社現代新書（2002 年）、中島義道『「時間」を哲学する』講談社現代新書（1996 年）、青山拓央『タイムトラベルの哲学』ちくま文庫（2011 年）、野家啓一『物語の哲学』岩波現代文庫（2005 年）、真木悠介『時間の比較社会学』岩波現代文庫（2003 年）、今村仁司『近代性の構造――「企て」から「試み」へ』講談社選書メチエ（1994 年）、西本郁子『時間意識の近代――「時は金なり」の社会史』法政大学出版局（2006 年）、内山節『時間についての十二章――哲学における時間の問題』岩波書店（1993 年）、木村敏『時間と自己』中公新書（1982 年）、広井良典『生命と時間――科学・医療・文化の接点』勁草書房（1994 年）、本川達雄『ゾウの時間 ネズミの時間』中公新書（1992 年）、M.エンデ『モモ』岩波少年文庫（2005 年）、A.ハート=デイヴィス『時間の図鑑』悠書館（2012 年）、A.カレル『人間 この未知なるもの』三笠書房（1992 年）等

履修上の注意事項

毎回コメントシートを配布し、出欠をとります。

連絡先

飯田　卓.教養教務・支援係までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

飯田　卓.教養教務・支援係までお問い合わせ下さい。

東京医科歯科大学全学共通科目履修規則

（平成１６年４月１日
規則第２１７号）

（趣旨）

第１条　東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（授業科目の編成）

第２条　全学共通科目における授業科目は、次の４系をもって編成する。

自由教育講義系
自由教育実習系
自由教育セミナー系
基礎教育系

（授業科目及び単位数）

第３条　前条の各系に属する授業科目及び修得すべき単位数等は、別表１に定めるとおりとする。

２　前項の授業科目及び修得すべき単位数等は、教養部教授会の議を経て定めるものとする。

（１単位当たりの授業時間）

第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

⑴ 講義については、１５時間
⑵ 演習については、３０時間
⑶ 実験及び実習については、４５時間

（履修届）

第５条　学生は、別に定める授業科目の中から、履修しようとする授業科目を所定の期日までに届け出なければならない。

（定期試験）

第６条　履修した授業科目については、試験を行う。

２　前項の規定にかかわらず、実験、実習を伴う授業科目又は試験を行うことが困難な授業科目等で、平常の学修の成果を評価して成績を与えることが適切と認められる場合には、試験によらず、指定した課題についての報告等をもって試験に代えることができる。

３　第１項の試験については、別に定める。

４　試験に合格したときは、所定の単位を与える。

（学習の評価）

第７条　履修した授業科目の成績については、別表２により学習の評価を行う。

２　前項の規定にかかわらず、前条第２項に該当する授業科目のうち、第１項により難い場合の学習の評価は、別表３により行う。

３　第１項及び第２項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。
４　教養部長は、学習の評価の結果を学生に通知する。

（再履修）
第８条　前条により、「不可」又は「不合格」の評価を得た授業科目については、所定の手続きにより再履修することができる。

（懲戒）
第９条　教養部長は、懲戒に相当すると思われる行為があったときは、学則第５８条に定める懲戒の手続きをとるものとする。なお、手続きについては別に定める。

（進級要件）
第１０条　別表１（１）に定める単位をすべて修得しなければ、第２学年に進級することができない。
２　別表１（２）に定める単位をすべて修得しなければ、第３学年に進級することができない。
３　別表１（３）に定める単位をすべて修得しなければ、第４学年に進級することができない。
４　全学共通科目の単位の認定については、教養部教授会の議を経て、教養部長がこれを行う。
５　教養部長は、前項の認定の結果について各学部長に通知する。
６　２年以内に、別表１（１）に定める単位をすべて修得することができない学生には、学則第３３条による退学を命ずる。ただし、当該期間には、休学の期間を算入しない。

（歯学部口腔保健学科編入学生の履修）
第１１条　学則第１８条及び第１８条の２に定める歯学部口腔保健学科編入学生の全学共通科目に係る履修については、別に定める。

（補則）
第１２条　この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修に関する必要な事項は、教養部教授会が別に定める。

附　則
１　この規則は、平成１６年４月１日から施行する。
２　国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成１６年３月３１日に在学し、引き続き本学の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成１６年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者の教育課程の履修については、この規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成１８年３月３１日規則第１０号）
１　この規則は、平成１８年４月１日から施行する。
２　平成１８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）および平成１８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２０年３月31日規則第８号）
１　この規則は、平成２０年４月１日から施行する。
２　平成２０年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２０年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（１）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２１年３月１９日規則第１１号）

１　この規則は、平成２１年４月１日から施行する。

２　平成２１年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２１年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（１）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２２年３月３０日規則第４０号）

１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。

２　平成２２年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１、別表２及び別表３の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１４号）

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年　月　日規則第　号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

３　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者（以下「再入学者等」という。）の別表１（１）は、なお従前の例による。ただし、再入学者等の別表１（１）は、従前の例に加えて、改正後の別表１（１）に掲げる次の授業科目を適用する。

授業科目
社会科学特論Ⅰ
社会科学特論Ⅱ
Japanese Culture and SocietyⅠ
Japanese Culture and SocietyⅡ
グローバル教養科目

別表 1

(1)第 1 学年

授業科目			修得すべき単位数						備考
			医学部			歯学部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学専攻	検査技術学専攻		口腔保健衛生学専攻	口腔保健工学専攻	
自由教育講義系	人文科学・社会科学	哲学Ⅰ	8	8	8	8	8	8	1科目2単位
		哲学Ⅱ							
		倫理学Ⅰ							
		倫理学Ⅱ							
		心理学Ⅰ							
		心理学Ⅱ							
		宗教学Ⅰ							
		宗教学Ⅱ							
		芸術Ⅰ							
		芸術Ⅱ							
		歴史学AⅠ							
		歴史学AⅡ							
		歴史学BⅠ							
		歴史学BⅡ							
		民俗学Ⅰ							
		民俗学Ⅱ							
		科学史Ⅰ							
		科学史Ⅱ							
		文学AⅠ							
		文学AⅡ							
		文学BⅠ							
		文学BⅡ							
		法学Ⅰ							
		法学Ⅱ							
		政治学Ⅰ							
		政治学Ⅱ							
		経済学Ⅰ							

		経済学Ⅱ							
		社会学AⅠ							
		社会学AⅡ							
		社会学BⅠ							
		社会学BⅡ							
		社会心理学Ⅰ							
		社会心理学Ⅱ							
		社会思想史Ⅰ							
		社会思想史Ⅱ							
		文化人類学Ⅰ							
		文化人類学Ⅱ							
		社会科学特論Ⅰ							
		社会科学特論Ⅱ							
		Japanese Culture and Society Ⅰ							
		Japanese Culture and Society Ⅱ							
		グローバル教養科目（注 1）							
	自然科学	物理学入門	1（注 2）		1（注 2）	1（注 2）			
		生物学入門							
		化学入門							
		数学	2			2			
		数学基礎			1				
		統計学		1	1		1	1	
		物理学	2		2	2			
		化学	2		2	2			
		化学基礎		1			1	1	
		生物学	2		2	2			
		細胞生物学基礎		1			1	1	
		人体の生物学基礎		1			1	1	
自由教育実習系	外国語	英語	4	4	4	4	4	4	
		日　本　語（注 3）	4	4	4	4	4	4	1科目4単位
		ドイツ語							
		フランス語							

		中国語							
		スペイン語							
	自然科学	物理学実験	1			1			
		化学実験	1			1			
		生物学実験	1			1			
		科学基礎実験		1	1		1	1	
		科学基礎演習		（注 4）			（注 4）	（注 4）	
		情報科学		1	1		1	1	
		情報処理	1			1			
	保健体育	スポーツ・健康科学	1	1	1	1	1	1	
		フィットネスマネージメント	1	1	1	1	1	1	
自由教育セミナー系	共通領域	自由選択科目	2	1	1	2	1	1	全学共通科目教育要項に定める
基礎教育系	共通領域	教養総合講座	1	1	1	1	1	1	
	連携教育	医療人間学概論（倫理学）		1					
		医療人間学概論（法学）		1	1				
		医療人間学セミナー		1					
第1学年　小計			34	29	32	34	26	26	

（注）

1　詳細は、全学共通科目教育要項に定める。

2　医学部医学科、保健衛生学科検査技術学専攻及び歯学部歯学科の学生については物理学入門、生物学入門、化学入門のうちから 1 科目（1 単位）を選択する。

3 外国人留学生のみ履修できる。

4　保健衛生学科看護学専攻及び口腔保健学科の学生については科学基礎実験または科学基礎演習のいずれか1科目（1 単位）を選択する。

（2）第 2 学年

授業科目			修得すべき単位数						備考
			医学部			歯学部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学専攻	検査技術学専攻		口腔保健衛生学専攻	口腔保健工学専攻	
基礎教育系	教養教育	生命科学基礎	2			2			
		主題別選択Ⅰ	1			1			
	連携教育	教養英語				4			
		情報科学演習				1			
		サイエンスPBL				1			
		生命科学（人体の生物学）				2			
		生命科学（生物物理化学）				2			
		人文社会科学総合講義				2			
第2学年　小計			3			15			

（3）第 3 学年

授業科目			修得すべき単位数						備考
			医学部			歯学部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学専攻	検査技術学専攻		口腔保健衛生学専攻	口腔保健工学専攻	
基礎教育系	教養教育	主題別選択Ⅱ	1			1			
		主題別人文社会科学セミナー	2			2			
第3学年　小計			3			3			
全学共通科目　合計			40	29	32	52	26	26	

別表２

摘　要	評価基準	評価区分	単位認定
第７条第１項に該当する授業科目	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	Ａ＋	合格
	当該科目の到達目標を全て達成した	Ａ	
	当該科目の到達目標を概ね達成した	Ｂ	
	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	Ｃ	
	当該科目の到達目標を達成していない	Ｄ	不合格
	到達目標の達成度を評価できない	Ｆ	

別表３

摘　要	評価基準	評価区分	単位認定
第７条第２項に該当する授業科目	当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
	当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格